

ヒロインを手に入れたので
洗脳悪堕ちさせました♡

ページ総数
182P

おまけ有り

















神子山 悠理(みこやま ゆうり)

前世では異世界の神子
勇者セイジ達と共に魔王を倒した
前世では男だったが現代日本で女性に転生している
前世での神子の力は今世でも持っているが
まだ覚醒しきれておらず本人もまだ気づいていないようだ
セイジ(誠二)と再会し再び恋人同士になるが…



今瀬 麻緒(いませ まお)

前世は異世界の魔王
現代日本に人間として転生し悠理と親友になった
前世の記憶はその時は持っていなかった
悠理に恋愛感情を持っており、ある日前世の記憶が蘇る
その日を境に魔王の力を取り戻していく



目色 誠二(ひいろん せいじ)

前世では異世界の勇者
神子ユーリ達と共に魔王を倒した
現代日本に転生しユーリ(悠理)と再会し
再び恋人同士になる
前世での勇者の力を今世でも持っているが
悠理と同様覚醒しきれていないようだ



セイジ&ユーリ

誠二と悠理の前世
2人は旅をしていく中で
恋人同士になったが
体の関係は持てなかった



ルッタ&アリア

前世の仲間
2人はユーリによって魔王の空間から
脱出する事ができた



早希

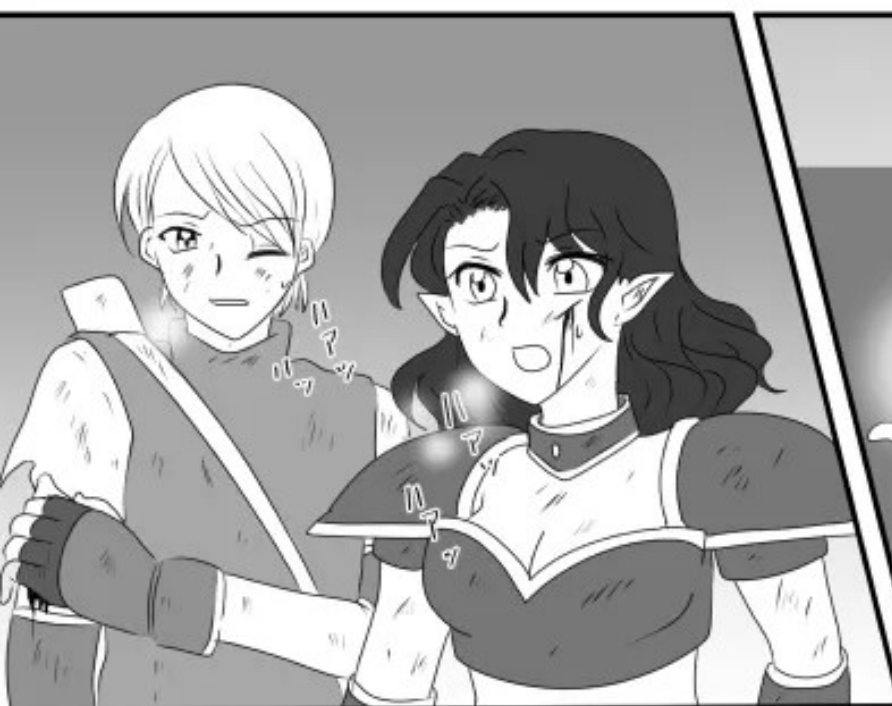
悠理と麻緒の親友で
麻緒とはクラスメイト
昼食はパンを食べる事が多い

前世(男)

転生(女)



プロローグ
『前世』





ゴッゴッゴッ

!!

ユーリ!!
俺をおいて3人で脱出しろ!!
あいつらも限界であそこから
動けない!!!



ゴッ
ゴッ

な：何を言ってるんだ
君をおいていけるわけ
ないだろう!!!



ユーリ：
このままじゃ
脱出は間に合わない!!

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ごめんユーリ：
世界が平和になったら
一緒に暮らす約束守れそうにない...

：フ

おい!!お前ら
何やってるんだ!?

早くみんな
で脱出をしないと!!!



ゴッ
ゴッ
ゴッ

ゴッゴッゴッ



カッ



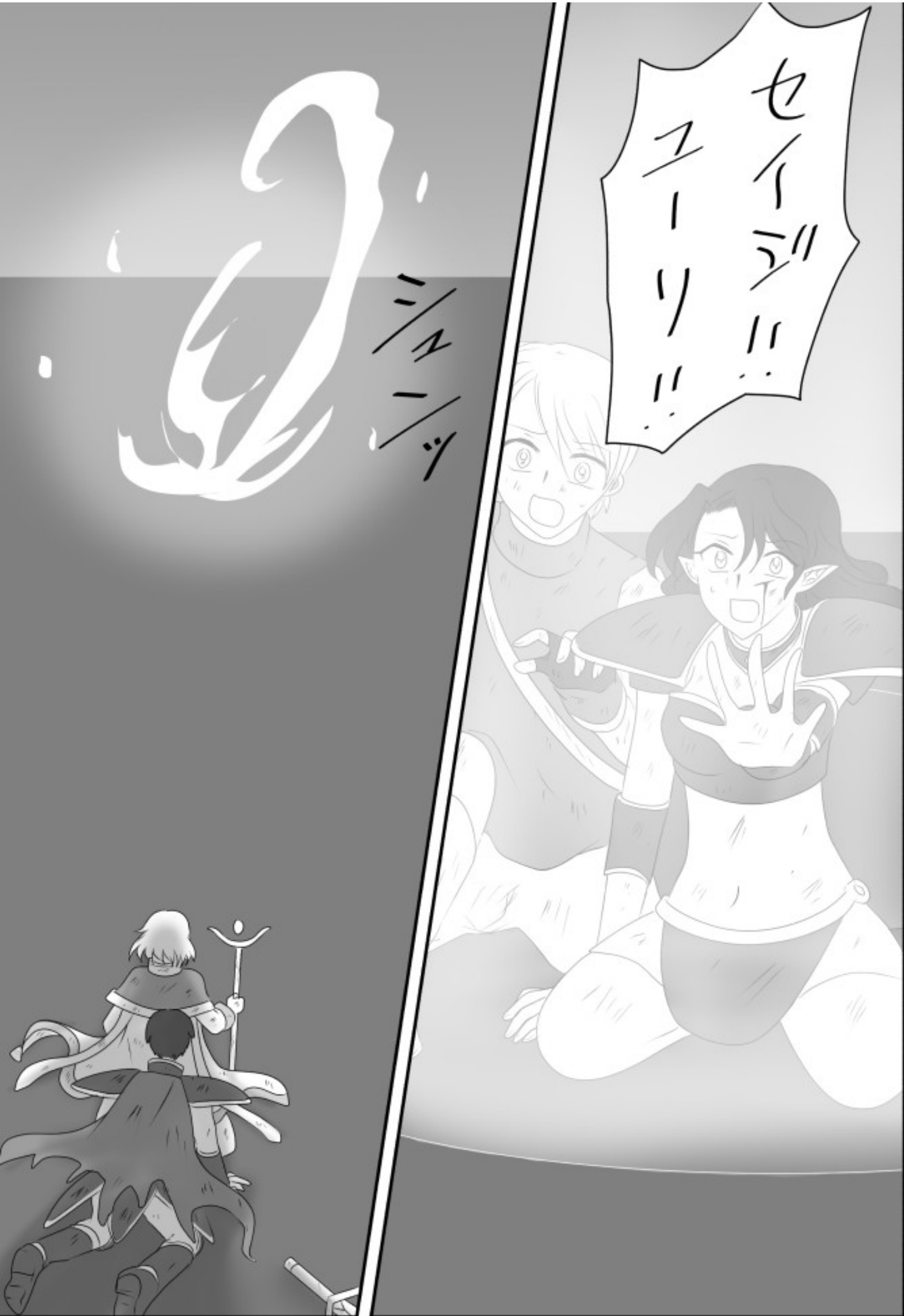
どうか平和になった世界で
幸せに暮らして下さい……

ゴッ
ゴッ



ゴッ
ゴッ
ゴッ

ユーリ!?



セイラ!!
フリー!!

フ ユ フ ツ …

何をしているんだ
ユーリ!!

セイジのいない世界なんて
嫌だった…

平和になった世界で
セイジがいないなんて
耐えられないよ…

ユーリ…

最後まで
一緒にいさせてほしいんだ
最後の僕の我儘を
許して…

ユーリ…
ごめんな…俺のせいだ…
心中をさせてしまう事になった…

うん…
セイジが謝る事じゃないよ…

ごめん…
なあユージ…

何？

生まれ変わったら
今度こそ一緒に暮らして
幸せになろう

うん…っ!!

第1話

『転生した私達は再会する』





まさか
転校先で
お前に会えるとは
思わなかったよ



うん…
私もこうやって
再会できるなんて
思わなかった…



私達は
お互いの話で
盛り上がった



まさか
ユーリが女の子に
生まれ変わってるなんて
思わなかったよ

だよ
自分でも
ビックリしたよ



誠二は
前世から
変わってなくて

安心したし
嬉しかった…



2人とも…
あの後無事に
元の世界に帰れたよね…？

お前の力なら
無事に帰れてるさ…



魔王を倒して
みんな生きて帰ろうって
約束していたのに…

私…
酷い事したんじゃないかって
生まれ変わってから
ずっと思ってたんだ

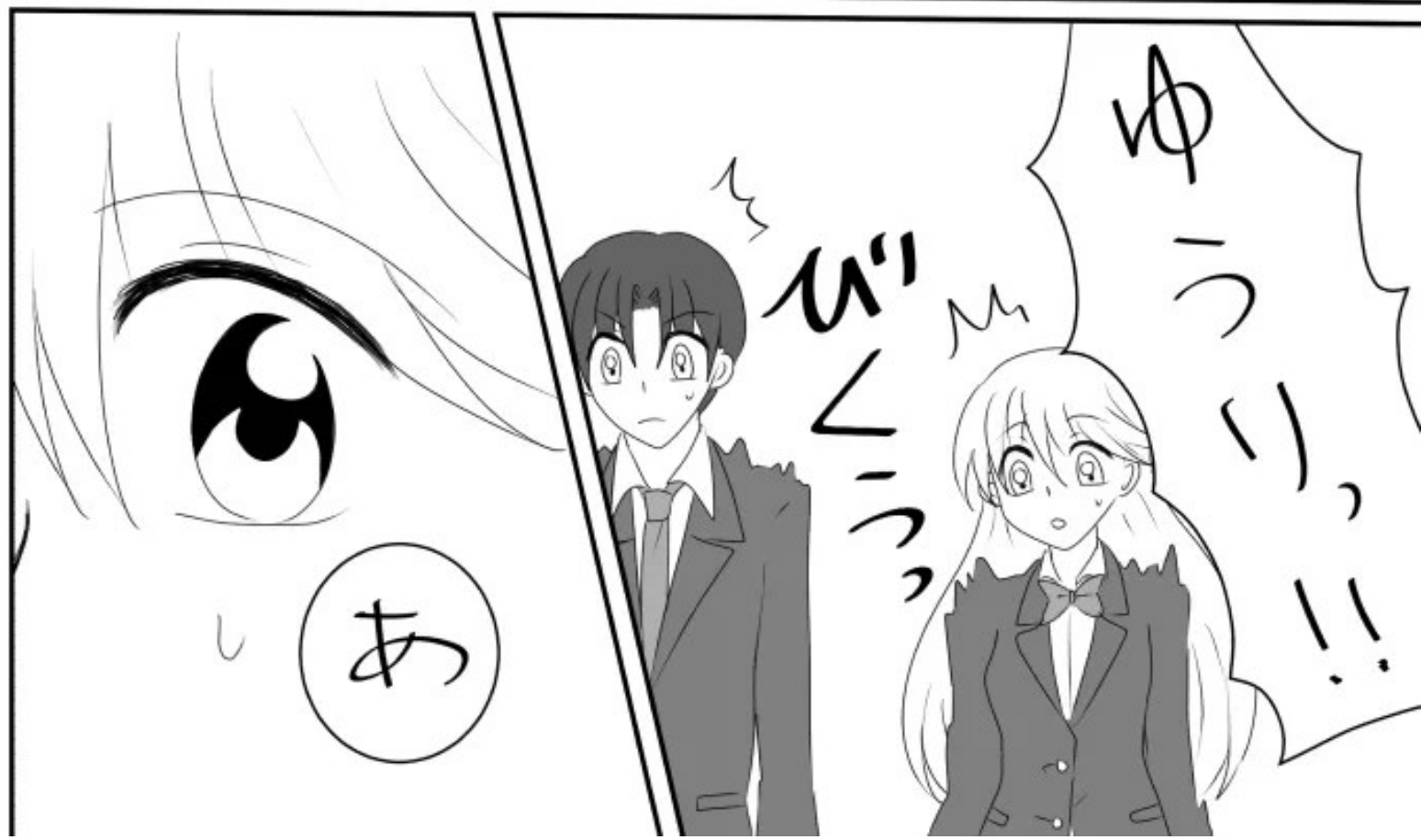
それを言ったら
俺だって約束を破ってるだろ…？
お前だけのせいじゃない…

あいつらが…

魔王がいないあの世界で…
幸せに暮らしている事を願おう
俺たちにはそれしかできないんだ

うん…

そうだね…



あ

びく
く

ゆ
う
い
!!



麻緒!!


も〜!!
悠理〜…

約束忘れてるでしょ!?
時間になっても玄関に来ないし
ニヤインには気づかないし
屋上に行くの見たって聞いて
ここまで来たんだからね!!

えっ!?
もうそんな時間!?

JL






あつ
えーとね…
知り合いなんだ…


前世で恋人同士だった…
なんて言えるわけないよね
確実にやばい奴だと思われる…



!!



そ…
そうなんだ

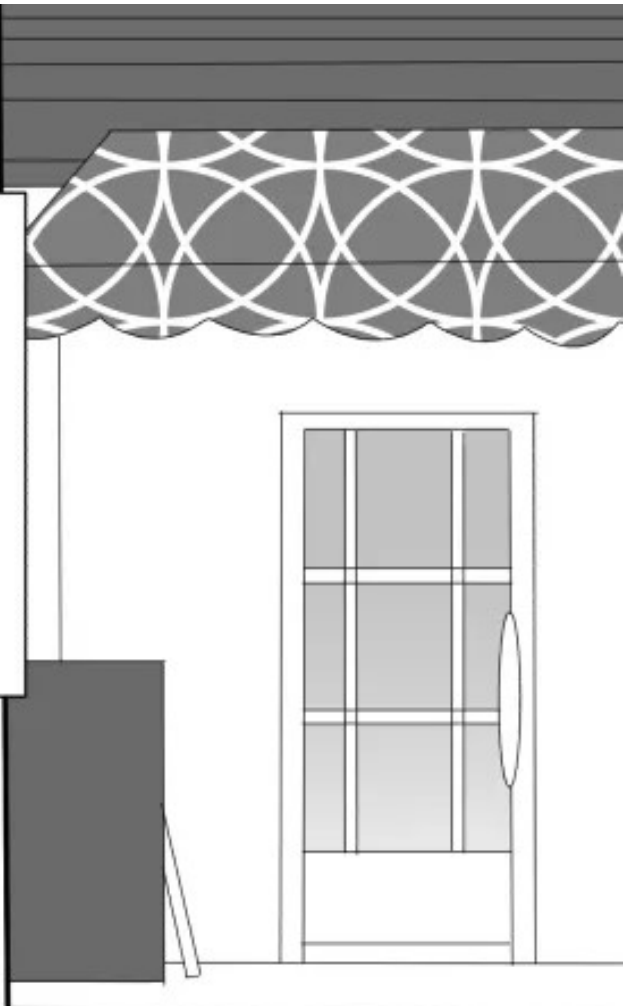


ああ
また明日

じゃあ
また明日!



私達はその後
約束していた喫茶店に寄って
今日の出来事で盛り上がった



ふっ〜

んんん

まさか誠二と
再会できるなんて
思わなかったな…



同じ日本に
転生してたんだね誠二…

こうやって再会できたのは
運命…だったりするのかな



なんてね…!!
夢見すぎかな…!!

早く寝なまきゃ



誠二と再会して
数週間後…


えっ？

悠理…
もしお前が前世と気持ち
変わっていなかったら…

俺と
付き合ってほしいんだ…

嘘…!?

これは夢じゃないよね…？
再会できただけでも
嬉しかったのに…
こんな良い事があって良いのかな



誠二…!!
私も気持ちは変わってないよ…!!



そして数か月後…



誠二と恋人同士になってからは
前世の分を取り戻すみたい
一緒に過ごす時間が増えた



うん…
誠二とエッチしたい…



本当に良いんだな…?





大丈夫か？

あっ

うん…
平気…だよ



じゃあ…
指をいれるからな

ぬ
-
ひひ
っ



もっと中を
ほぐさないとな
お前に痛い思いさせたく
ないし…

あみんっ♡
せいじっ…
気持ち
良い♡

しっ
しっ
しっ
しっ
しっ



えっ…
指だけで
そんなに感じてるのか？

あっ♡
だって
せいじの
手だからあっ

か
しっ
ぬ
ぬ
ひひ
っ♡
っ♡



俺だから
感じてる？

ぬっ
あっ♡
うんっ♡

ぬっ
あっ♡

そんなに
気持ち良い？

あっ♡

うん…っ
気持ち良い…
もう少しでイっちゃう…

悠理…

ぬっ
あっ♡

ぬっ
あっ♡



あ…ああっ…



イっちゃうぞ

あ
あ
あっ♡
とろね、

ぬっ
あっ♡



わっ...凄い...



あっ

ひょと、

いりう…
つけれた…



ああ…悠理…
いれるぞ…



誠…
早く…私の中にきて…

あっ♡

ぬ
っ
っ

ゴム越しでも
すごい…熱い…

あっ♡
あっ

あ…ああ…
誠二の
が
ど
ん
ど
ん
入
っ
て
く
る
…

ぬ
っ
っ

ああん♡

はっ
ちゅっ

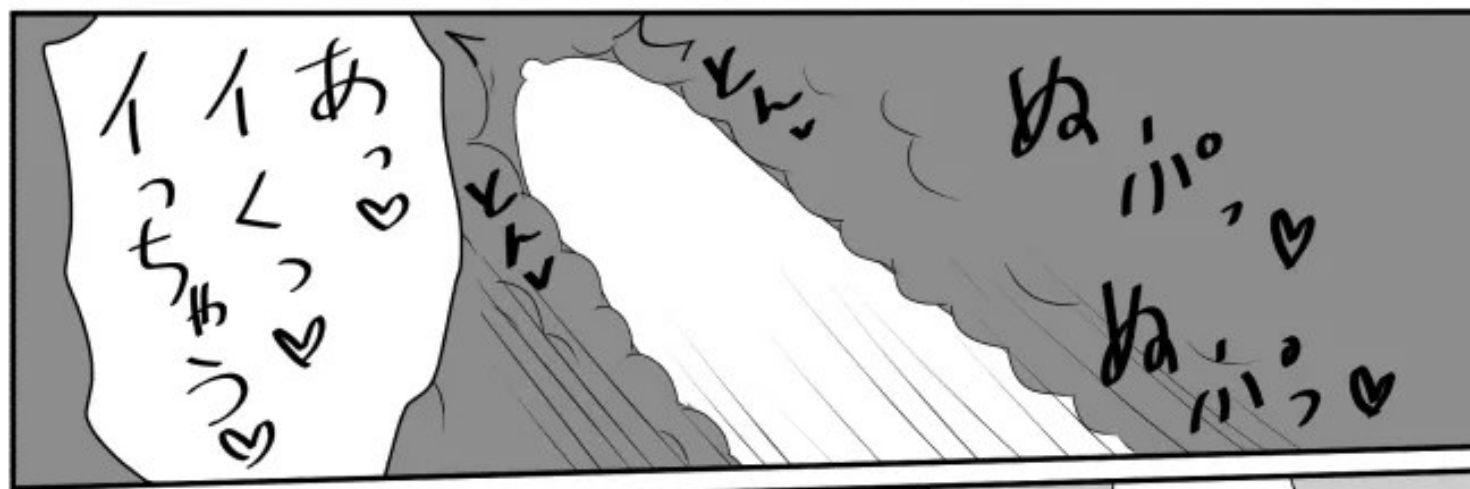
はあ…っ
もう少し…

んっ♡

ああっ♡

ず
ずっ
ちゅっ





はみ…

はみ…

悠理…
俺は今凄い幸せだ…

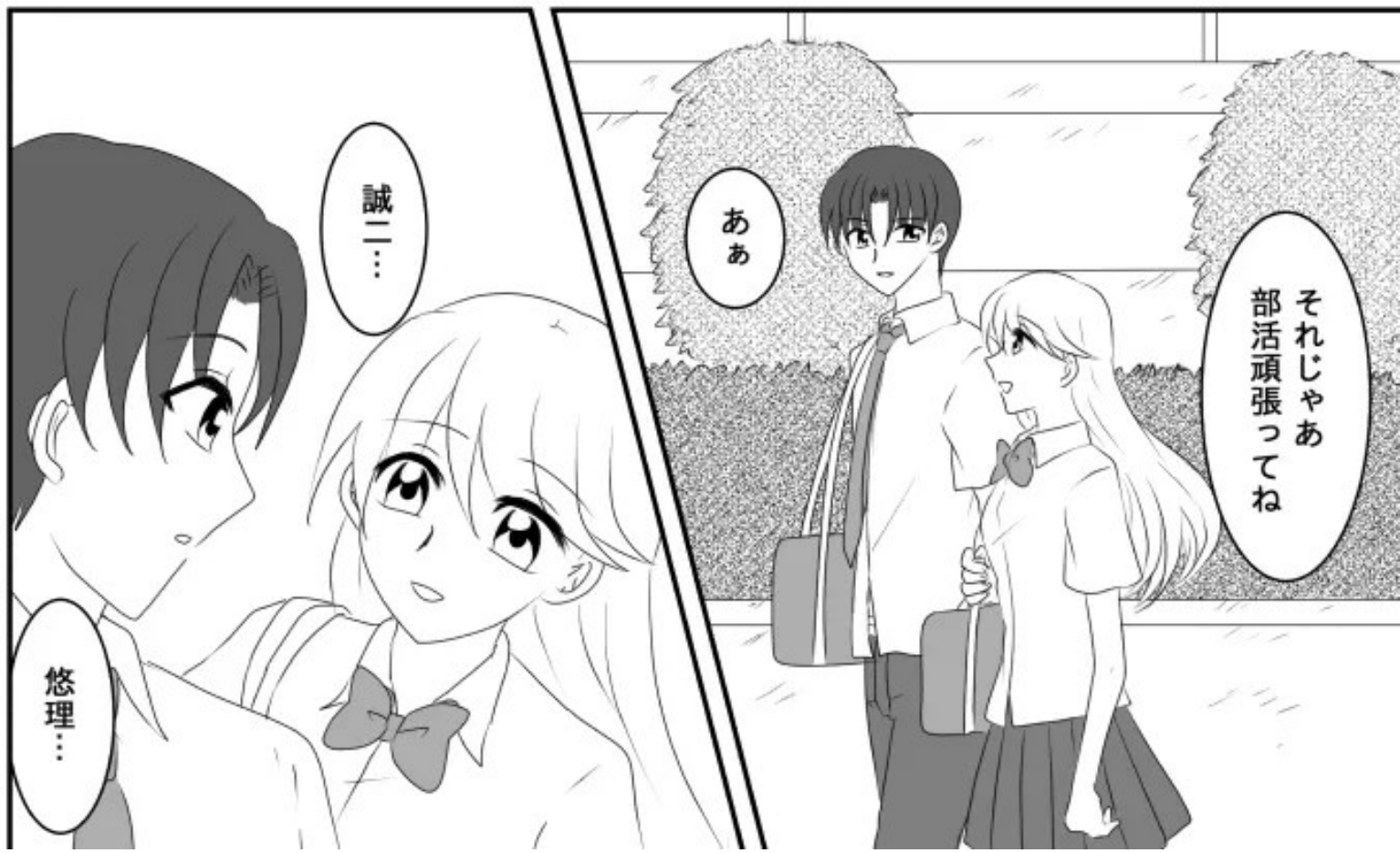
私もだよ誠…





どうか…
この幸せが壊れませんように…

数日後…

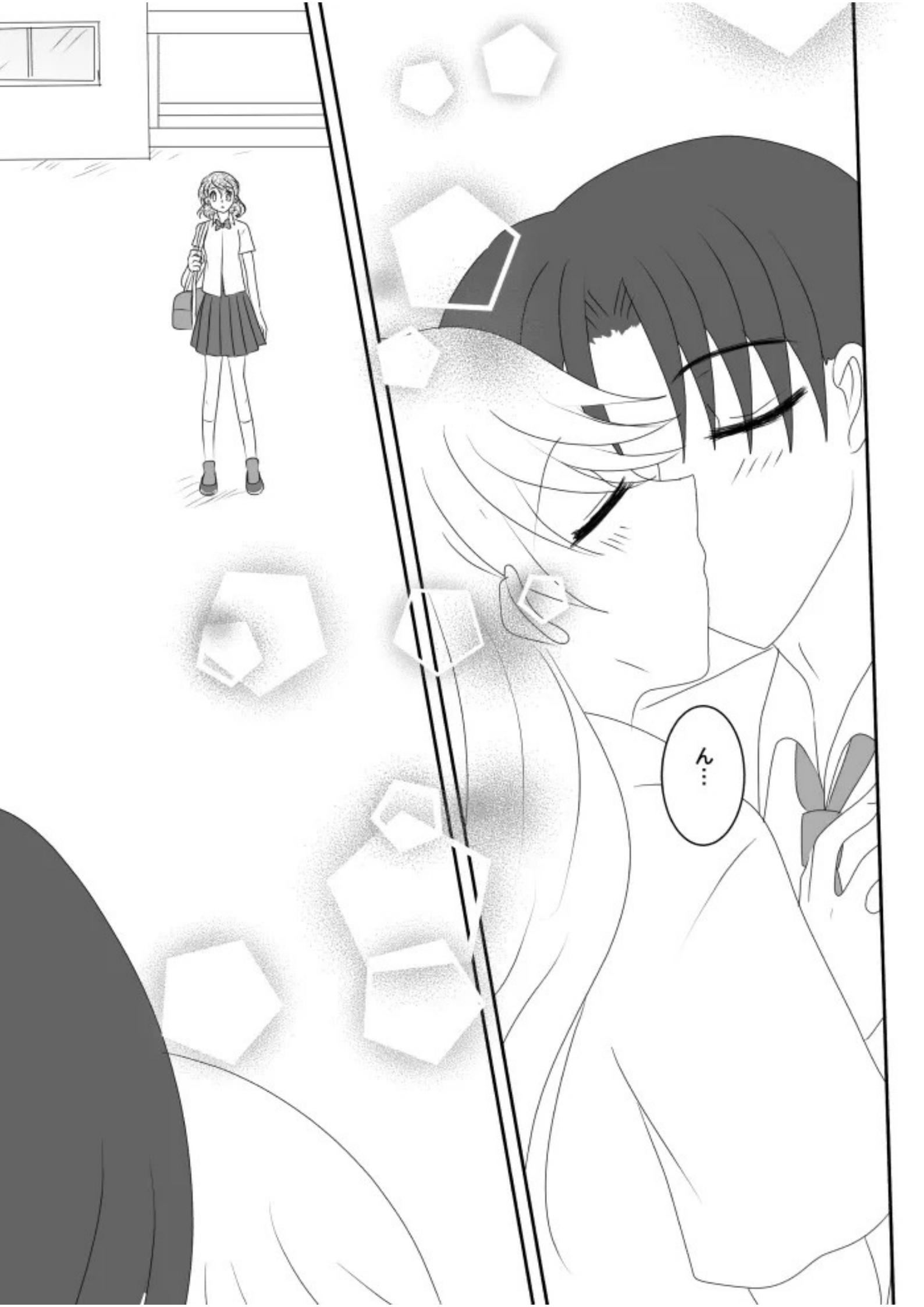


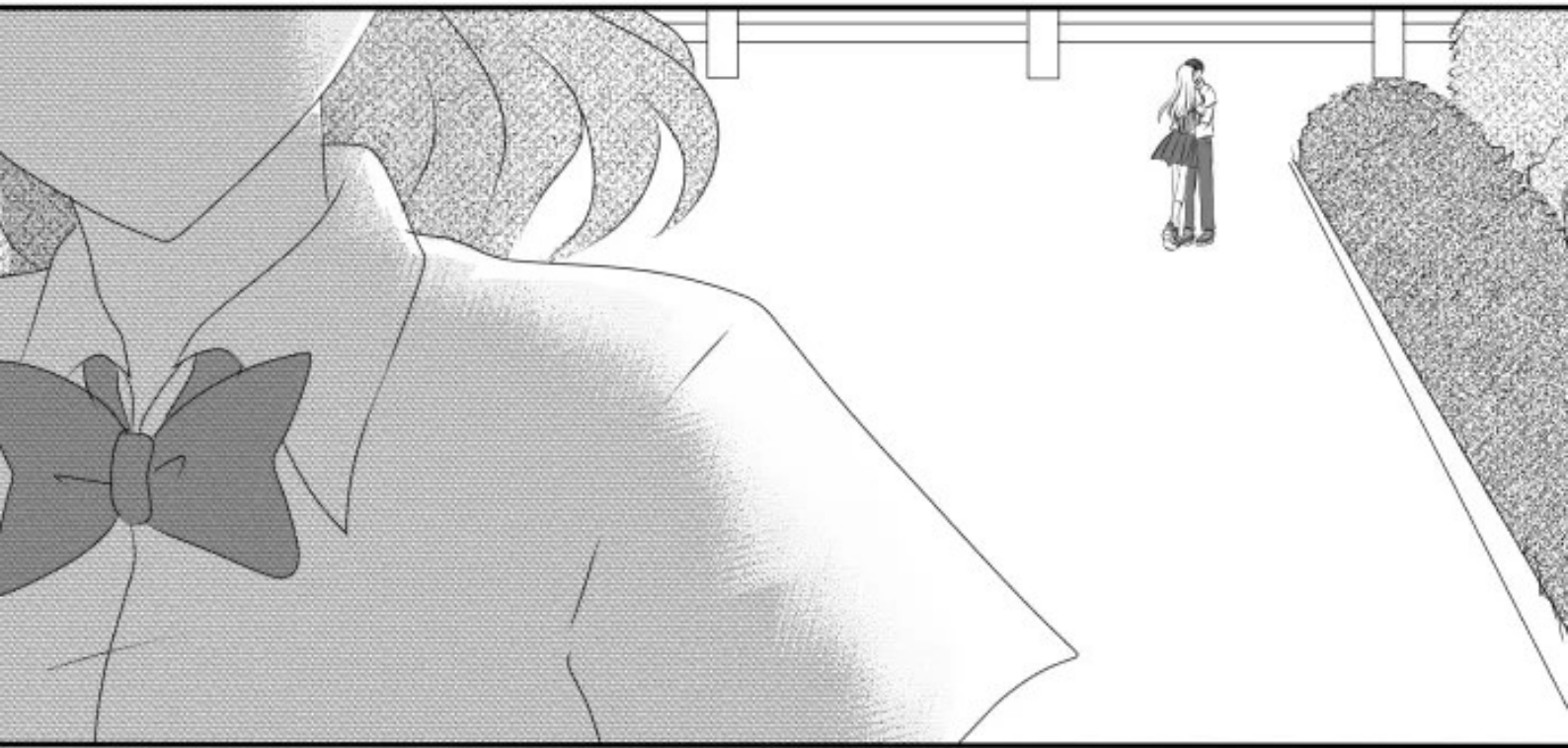
誠…

ああ

それじゃあ
部活頑張ってるね

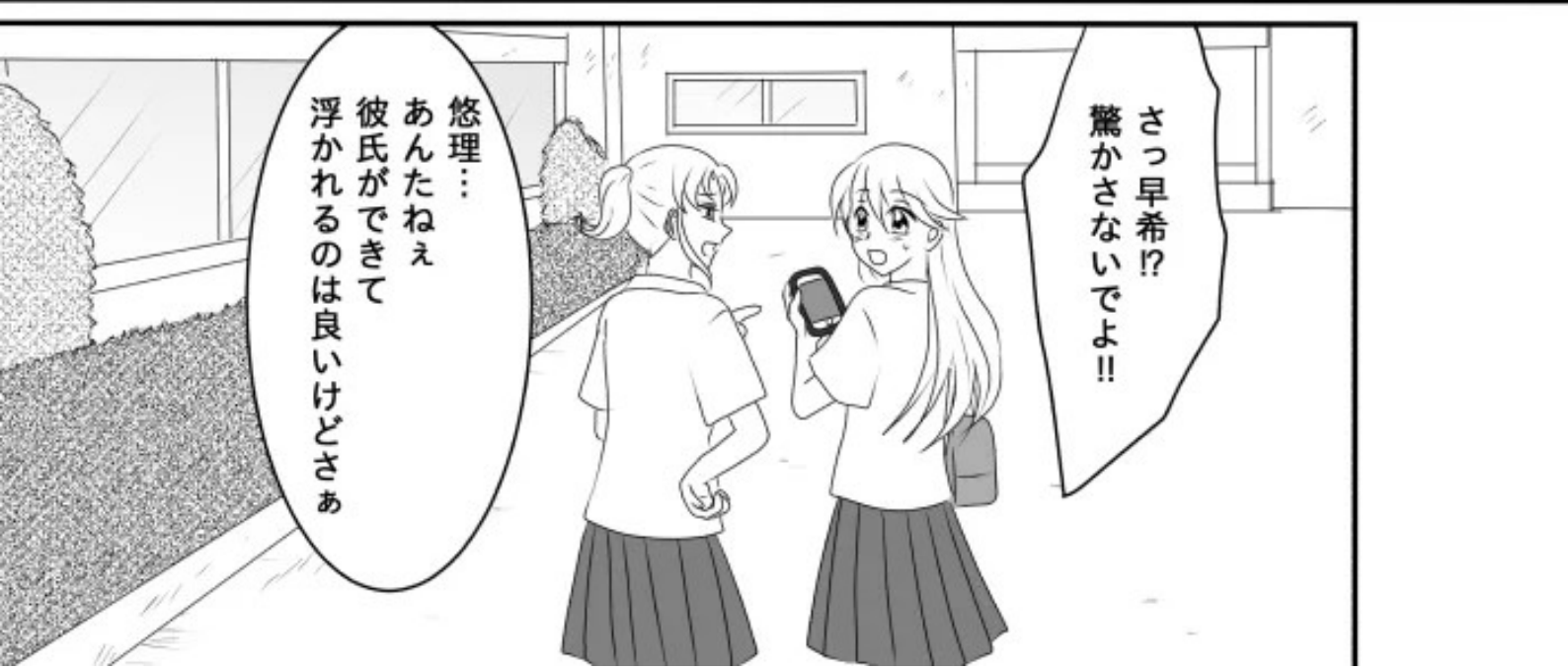
悠理…





さてと
麻緒との約束に
遅れないようにしなきゃ







場所考えなさいよ
いくら放課後だからって
中庭は隣の校舎と美術室から
丸見えだからね？



~



あっ
麻緒から返信きた



あああ
たしかに、
私何やってん
だろ
今さらだけ
はづかし
ずかる



うん
頑張ってね

じゃあね
私は部活に戻るから



良かった…
具合そこまで悪くないみたい…

ホッ

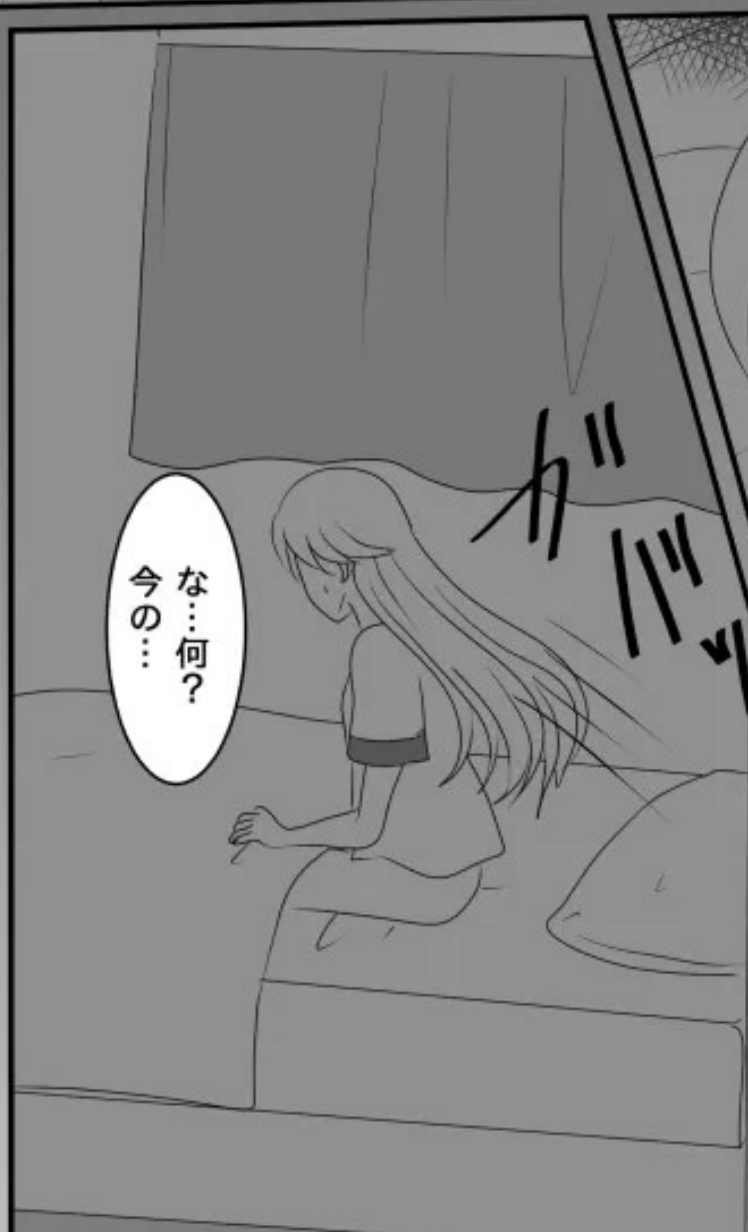
既読
16:17

え？今朝は元気だったよね？
大丈夫？夏風邪？

大丈夫だよ～。夏風邪ではないかな？
寝て大人しくしてれば治ると思う

ケーキは明日食べようね





ねえ！！

昨日の
テレビよみ

おはよー



誠二も何か感じたかな…？

あれは
何だったんだろう？



麻緒！！

ポ
ン
ン

おはよう！！
悠理！



じゃあ麻緒
また放課後ね!

うん玄関で
待ってるからね



あっ悠理
今日家に来て
ケーキ食べて勉強会しない?
テストも近いし

あっ!
それ良い!

うん
もう平気

具合はもう大丈夫なの?



夜中に
何か感じなかったかだって?



いや
俺は何も感じなかったぞ
どうしたんだ？

あのね
寝ている時に
何か悪寒がして…
風邪とかじゃない…
嫌な感じがしたんだ…



え？

でも
前世と違って
私にもうそんな力ない筈だけど…



悠理の
前世が神子だったから
何か感じとったとか？



ねえ…大丈夫かな？
平和な日常を過ごしているのに…
この日常が崩れるのが怖いよ…

悠理…
安心しろ

え？



誠二…ありがとう
何があっても大丈夫…
前世のように乗り越えられるよね…！

キーン
フーン
カーン
フーン

ドーン
ドーン

また明日な！

何かあったら
すぐに俺に言うんだぞ

麻緒、
待った？

ううん

私もさっき来た所だよ




第2話


『魔王復活 そして神子は穢される』



同じ人物が
出てくる夢を
何度も見るようになった



いつもモヤがかかった感じで
誰だかわからない…
この夢を見るようになったのって
そもそもいつからだっけ…？



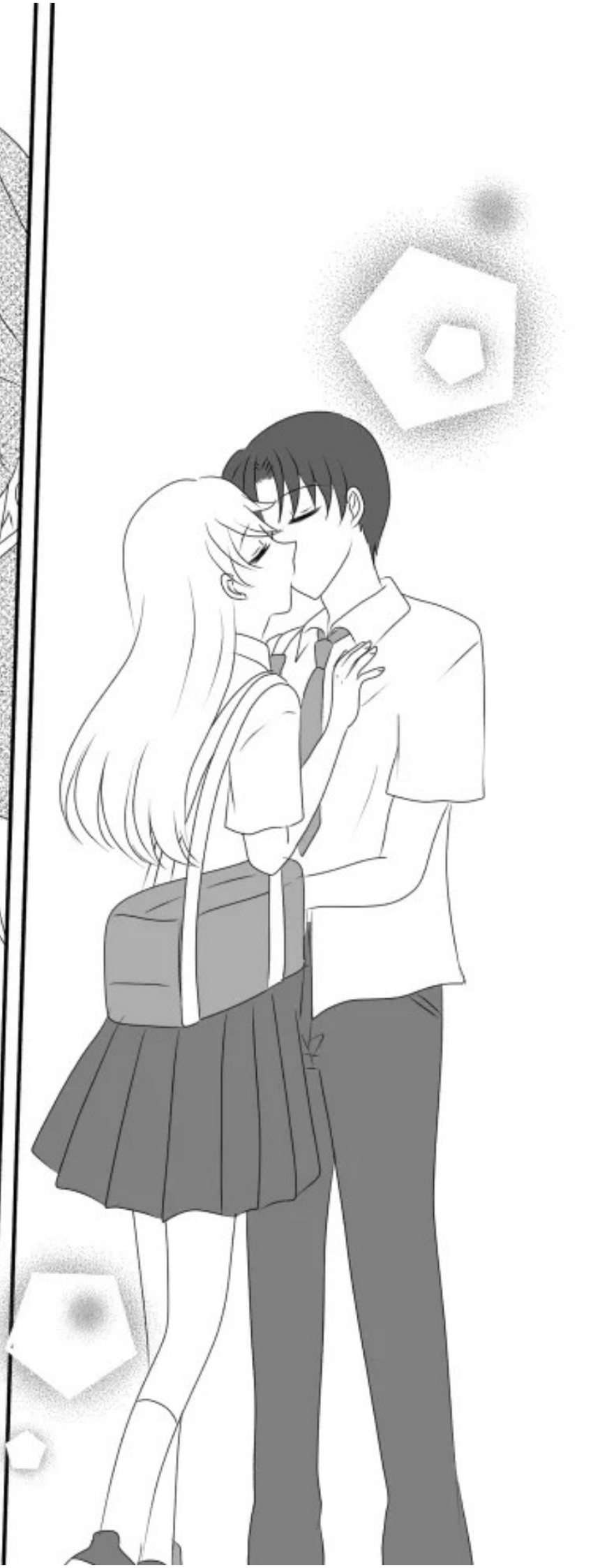
あれ…？
そういえば
悠理にあの転校生の
誠二を紹介されてからのような…



麻緒









悠理に
嘘ついちゃったな…

ク
ク
ク

うう…っ
こんな泣いた姿で
一緒に帰るとか無理だ…
悠理にニヤインしとこう…



え？今朝は元気だったよね？
大丈夫？夏風邪？

返事
返さないと…

悠理からだ…

いつも通りに
返事できたかな…

…



…

ク
キ
ク





うう…
さつきより
頭痛が酷くなってるかも…

まさか本当に
具合悪くなるなんて最悪…



ただいま…



薬飲んだ方が
いいかも…

ズキ

やばい…

ズキッ



”
”
”




急に…なんで…

えっ?何…?
今のは夢に出てきた…
あの2人…?


あ…っ






神子…
素晴らしい力を持っている…
この力さえ手に入れれば
世界を征服するのも容易くなる…

必ず手に入れてみせるぞ
神子よ…



国王陛下!!
勇者の私が…
いえ我々が必ず
魔王を倒してみせます!!

私をたおすだと…?
そんな事できるものか!!

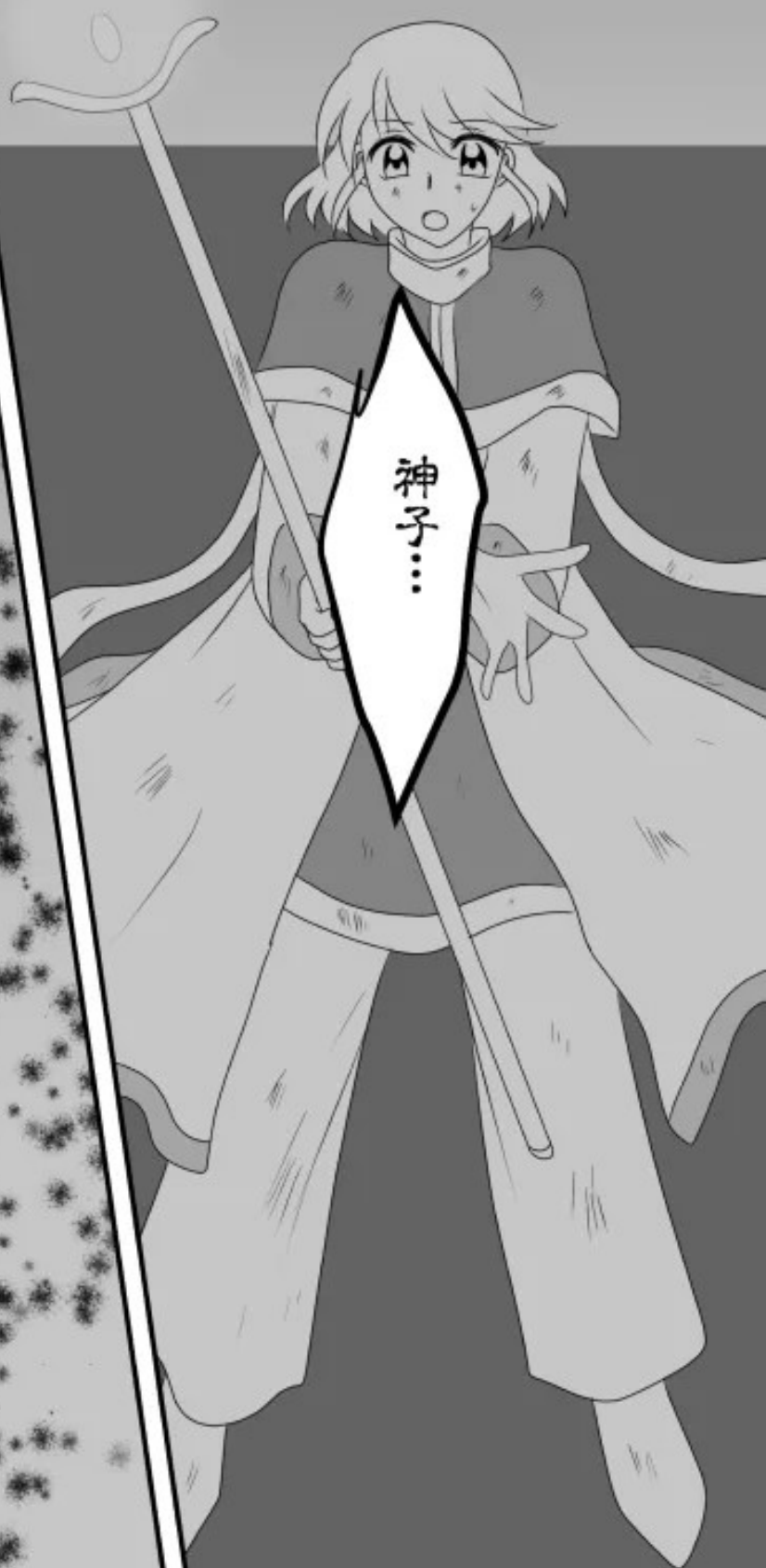



我が神子の
祝福の力を勇者セイジへ
捧げたまえ
加護があらん事を

何故だ神子!!
お前の力は私にこそ
ふさわしいというのに!!

今度こそ…
お前を私の物に…

神子…





ああ…神子！…
生まれ変わったも
お前をみつけて…

必ず！！
必ず手に入れてやる…！！

はっ





ええ
全て思い出したわ

ふふ…
前世の記憶を思い出す為…
だったのかな？



頭痛がおさまった…

ム
ワッ



悠理…
あなたと出会った時に
運命を感じた気がしたのは
前世からの繋がりがりだったのね…



誠二…
憎き勇者の生まれ変わり!!
目的を邪魔したばかりか
神子も奪った男…



ふふふ…

そして私は
魔王の生まれ変わり…!!

魔王の記憶が蘇ったんだもの
悠理を今度こそ手に入れるわ…
どんな手を使ってでもね…

夜中に何か
感じなかったって？

ふふふ…魔王の復活を
感じ取ったのね…
さすが悠理…

俺がまた勇者になって
世界もお前も守る!!

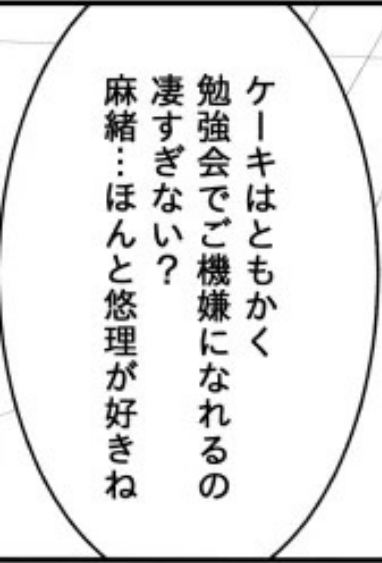
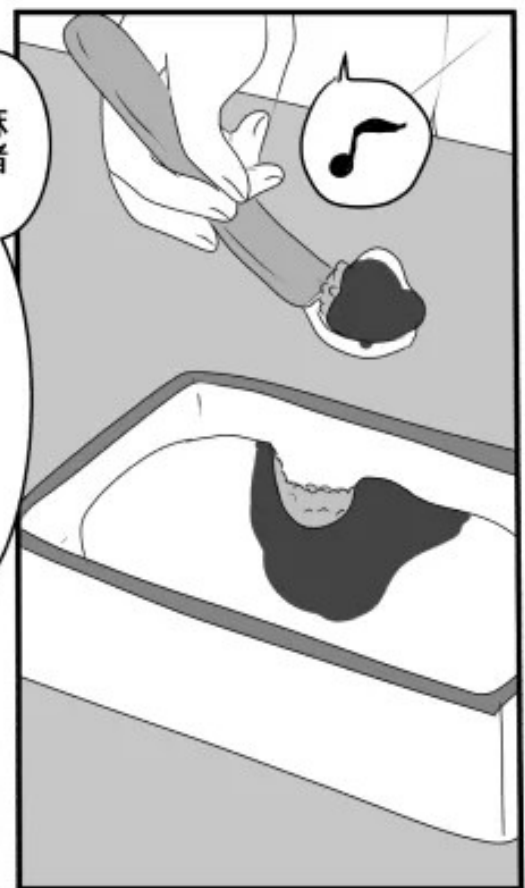
また勇者になる？
世界も悠理も守る？

今気づいていない時点で
手遅れよ



何か良い事あった？

麻緒
今日はご機嫌じゃん



ケーキはともかく
勉強会でご機嫌になれるの
凄すぎない？
麻緒：ほんと悠理が好きね



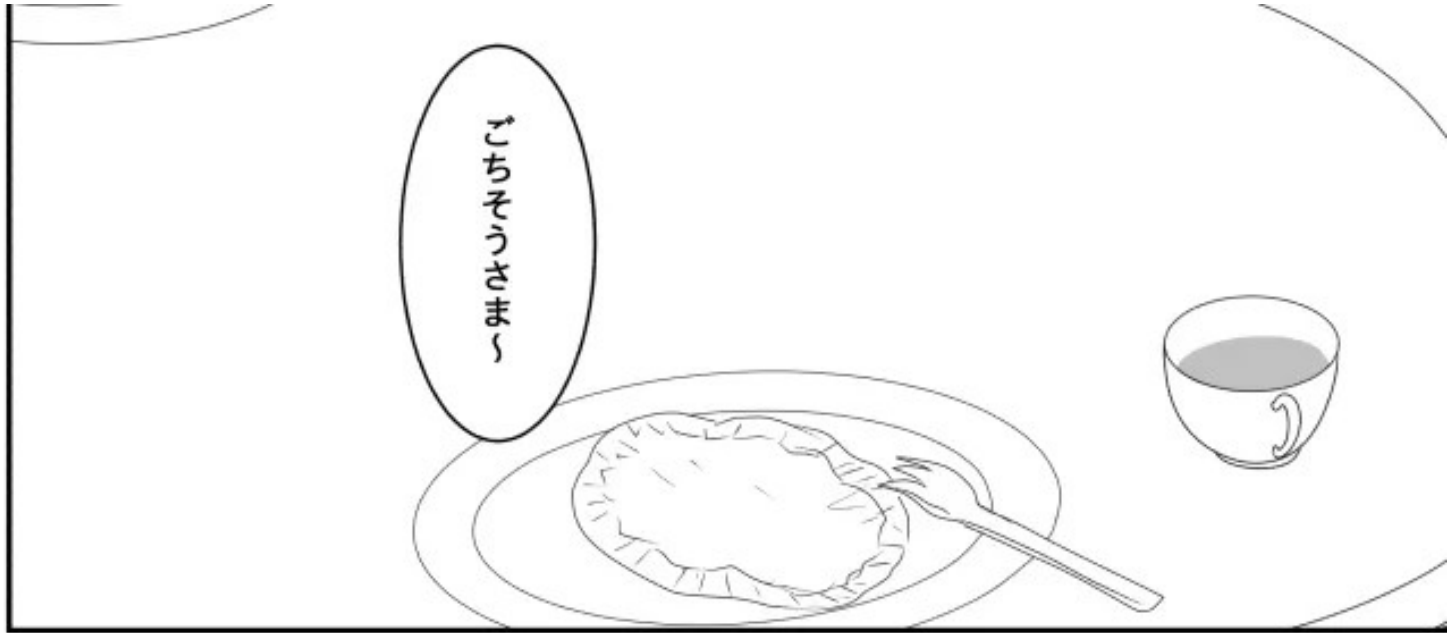
うん
悠理と今日帰ったら
一緒に勉強会して
ケーキ食べる約束してるんだ



ううん
私もさっき来た所だよ



麻緒
待った？



ごちそうさま



勉強の後に
甘い物は格別

頑張った自分への
ご褒美って大事だよね



昨日
誠二さんとキスしてたよね

んっ!?



…
ねえ悠理…

ん?



ごめん…
気づけなくて…

いいの
むしろ私の方がいきなり
本音を吐露しちゃって
ごめん…

ねえ…
私もし
誠二くんが来る前に
悠理に告白していたら
何か違っていたかな…？

それは…
その…

ごめん…

それは
私と同性だから？

それは違うよ!!

麻緒は親友だから…
その…
同性だから嫌なんじゃないよ

ふふ…
そうだよね…
誠二くんとは前世で
同性同士で恋人だったもんね？
今世でも偏見はなくて安心した

え？

麻緒…？

私思い出したの
前世があなた達に
倒された魔王だって事をね

え？

えっ…!?

ね…ねえ

何かの冗談だよ…？

魔王も転生してたのよ
神子…を手に入れる為にね

その証拠にほら…

いきなり前世が魔王とか
冗談言うわけないでしょ

ハクッ

っ!?

あなたはこれから目を離せない…
私の声しか聞こえない
私の言う事に何でも答えるの

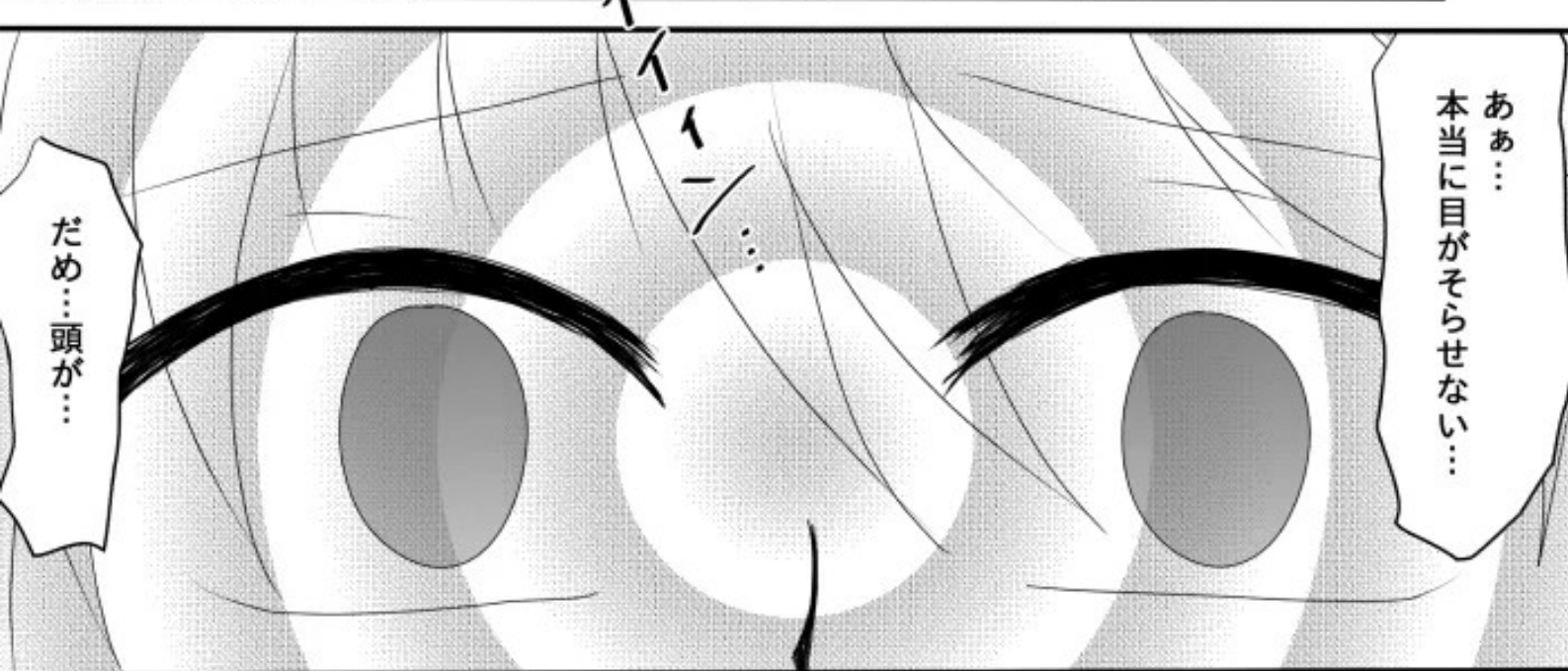
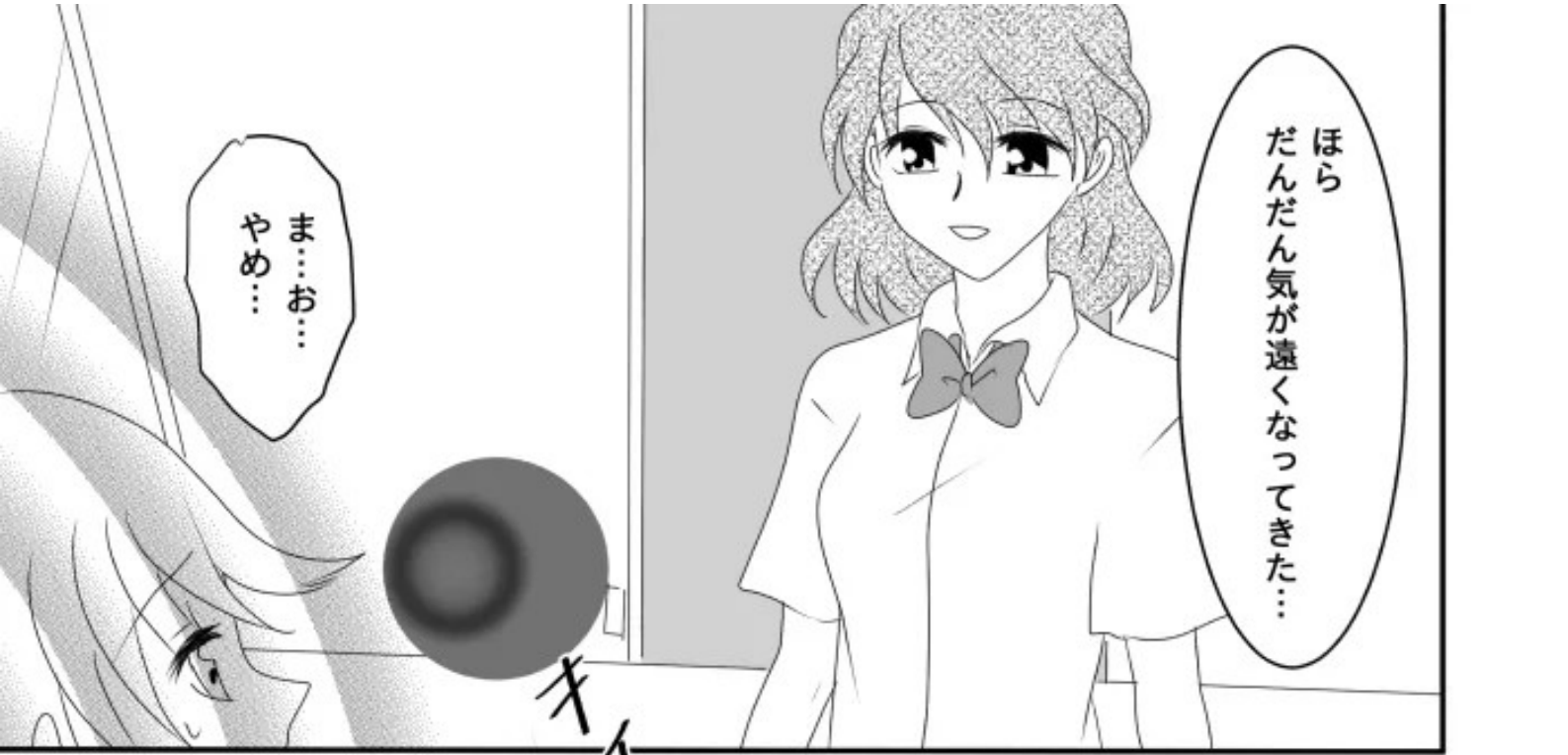
あ…っ
ああ…

キーン…

こんな事ができるの

悠理…
これをよく見て?

グ
ニ
ツ



悠理が今世で神子の力をまだ
覚醒しきれてなくて良かった…

おかげで簡単に
催眠をかける事ができたわ

さあ質問よ悠理…
誠二くんとはもうセツ●スをしたの？

うん…したよ

へえ…
どっちから誘ったの？
何でセツ●スしたの？

私だよ…
誠二と前世では
セツ●スする余裕なんて
なかったから…
平和なこの世界で
また出逢えて…恋人同士にも
なれて嬉しかった…
だからセツ●スしたかったの

セツ●スは
誠二の家に行っ
てしたよ…

そうなんだ
それで？気持ちよかった？



うん…

気持ちよかった…



え…
それは…



ねえ…悠理

私ともセツ●スしようよ



ほら…もう1度
これをよく見て…

私ともセツ●スしたい
そうよね？



うん…

そうよ
それで良いの

麻緒とも
セツ●スしたい…
気持ち良くしてほしい…



さあ
始めよう悠理

わっ

とっさ、



ええ…
勿論よ…



麻緒…
私を気持ちよくして…？



悠理…

麻緒…



私悠理!!
よろしくね麻緒ちゃん

同じように転生した私…

うん…



やっと…

私の物にできる…



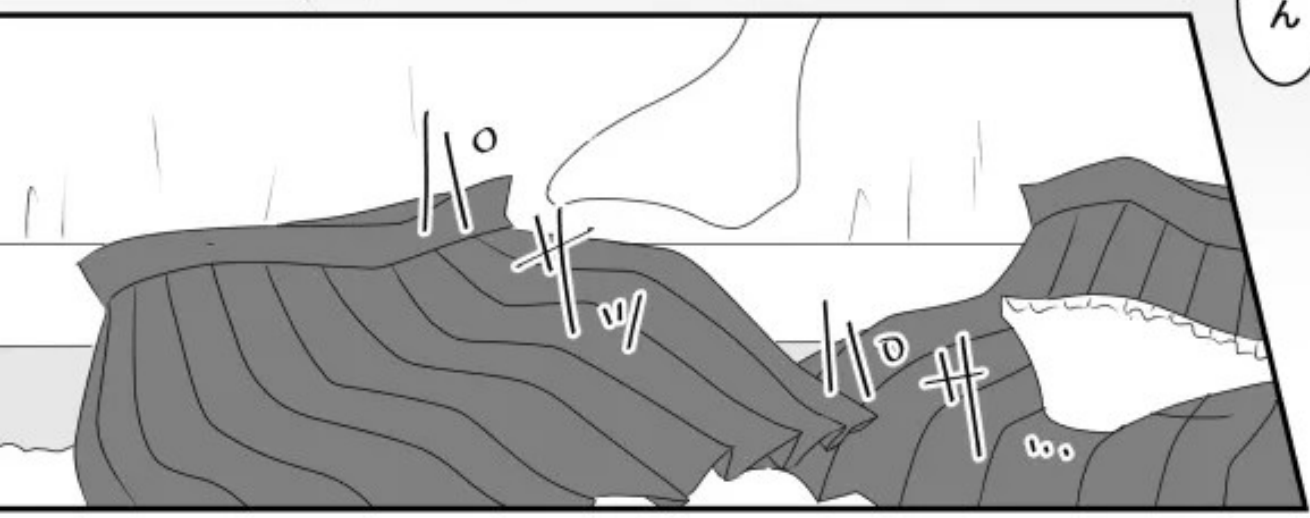
前世では

手に入れられなかった
神子…ユーリを



悠理：
服を脱いで

うん



さあ
悠理：誠二くんと
どうセッ●スしたか教えて
ちょうだい？









麻緒…

悠理…

お願い…
指をいれて…
我慢できない…っ

はぁっ

はぁっ

はっ

くすっ

わかった…
指もいれて
もっと気持ちよく
してあげるv

ぬ

いっ

あっ



イって
ちようだいゝ

あゝ

ぐんぐん

ぐんぐん



あゝ...



さあ
悠理...仕上げよ

え？



ふふふ...
ほんと
感じやすいんだからゝ

ふふふ

本当はね魔力で
ち●こを
生やしたかったんだけど

グ
ン...

まだ私の魔力は
覚醒しきれてないの...
だからま●こに
魔の力をためるわ

貝合わせで
悠理の中に魔の力を
入れるわね

それって
気持ち良いの？

はぁっ...
はぁっ...

もちろんv
一緒に気持ち良くなるわv



ゆうりっ
ゆうりっ

はちゅん

はちゅん

あん
ん

ん

ん

あ、ん、
まおっ…

はちゅん

はあ、は

また
イ、ちゅん…

はちゅん

ん

はちゅん

あ

はちゅん

あん

はちゅん

こんなに
気持ち良くなってくれて
嬉しい

良いよって
私もイキそう

あ、だめ、
だめ、
も、う、ん

はちゅん





悠理の中にも
魔の力を入れる事が
できた…



すごい
気持ち良かった…



さあ…
悠理…私のものになるのよ…

神子の力を
魔に変えるの…

えっ？

おかしいわね…
本来なら魔の刻印が
もっとくっきりと浮き出る筈…

スウ
ツ…

スウ
ツ



その時こそ
悠理は私のものになる…



そう…
さすがに1回のセツ●スじゃ
私のものにできないか…

何度もセツ●スで
魔の力を悠理の中に入れてれば
刻印もくつきり浮き出る筈…



ん…?
麻緒…?

悠理…



すぐに私のものに
できなかつたのは
残念だけど
これはこれで楽しみが
できたわ



うん…
しないよ…

もう誠二くんと
キスもセツ●スも
しちゃダメだからね
良い？

ねえ悠理…



うん…

気持ち良かった？

私とのセツ●ス…



私とだけ
キスとセツ●スをするの
身体で覚えててね…

わかった…
麻緒とだけ…
キスとセツ●スする…



そろそろ時間みたいね…

さあ眠りなさい
今日のセツ●スの事は
ひとまず忘れるの…


そう…
全て思い出すのは…



悠理…

悠理…!

ん…



悠理…
そろそろ起きないと

え？
麻緒…？



ふふ…
ちゃんと
忘れてるようね…



悠理ってば
ケーキ食べた後
寝ちゃってたよ？

嘘!!
私寝ちゃってた!?

うん
疲れてたんじゃない？



もう
こんな時間!?
起こしてよ麻緒!!

気持ちよさそうに
寝てるから…
でもさっき起こしてた
でしょう？

うう…
ごめん麻緒

良いって良いって



うん
バイバイ
気を付けて帰ってね



じゃあ
また月曜
学校でね!



じゃあ
またね…悠理



第3話
『穢されていく神子』



は^o
ちゅ^o

は
あ^o

あ^o

あ
ん^o

は^o
ちゅ^o
は
あ^o

は^o

ちゅ^o







ふふふ...
刻印が前より
濃くなった...

ズ
ウ
...





現にこうして
まだ完全に力が復活していない状態で
この体育館にいる生徒達を
眠らせる事が出来ているんだもの…

また力が戻ったわね…
悠理とセツ●スしてから
力が復活しているだけじゃなく
前世より増してる…




ああ
いけない
そろそろ戻さないかね…



ああ…悠理…
さすが神子…
あなたのおかげよ…




私の魔力にやられて
眠らされてる哀れな勇者…



あんたが
気づいた頃には…

悠理はもう
私のもよ…



なあ…悠理
一体何だったんだろうな？

え？

今日の球技大会の事だよ…



あれ？
何で俺達倒れてるんだ？

あれ？
何でもうこんな時間？



何で私達全員…
1回目の試合が終わるまで
気を失ってたんだらう？

しかも全員
気を失う前の記憶がない…
どう考えてもおかしいよな…



なあ…

前に変な気を感じたって
言ってたよな？
それと何か関係あったりしないか？



そういえば
あれから
私…よく記憶が途切れる事が
よくあるよな…



え？

私…
そんな事言っただけ

スウ…



ごめん…

覚えてない…

悠理…？



……
ごめん
俺の記憶違いだったかも
しれない

ううん
謝らないで
誠二は悪くないんだから

あれ？
私…
今何言ってた…？



悠理の好きな所に行こう

え？



夏休み
俺が部活休みの日に
久しぶりにデート
行かないか？

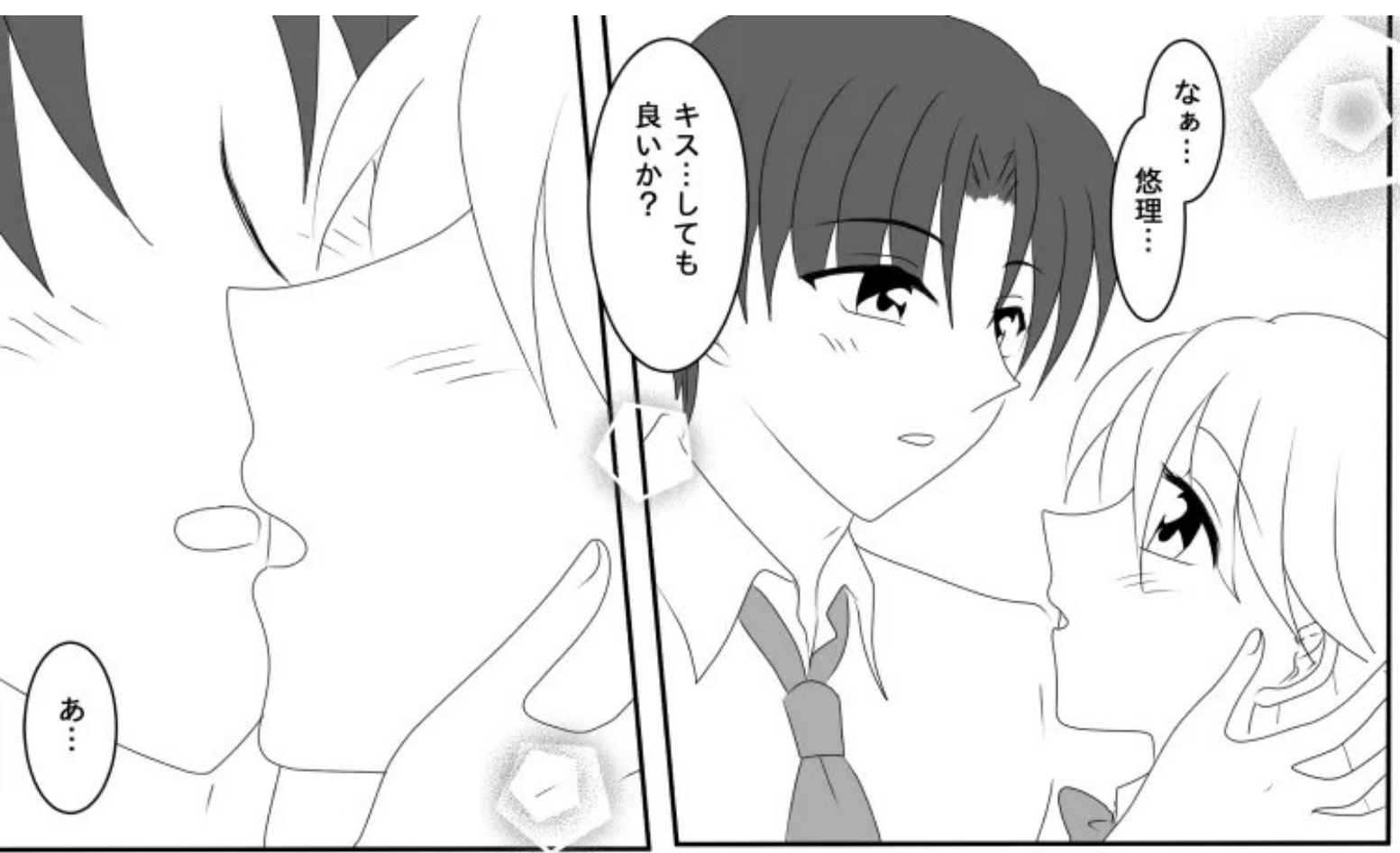
あの子

……



うん！行きたい！
テストもあったりで
最近デート出来てなかったもんね

あだからさ
思いつきり
楽しもう

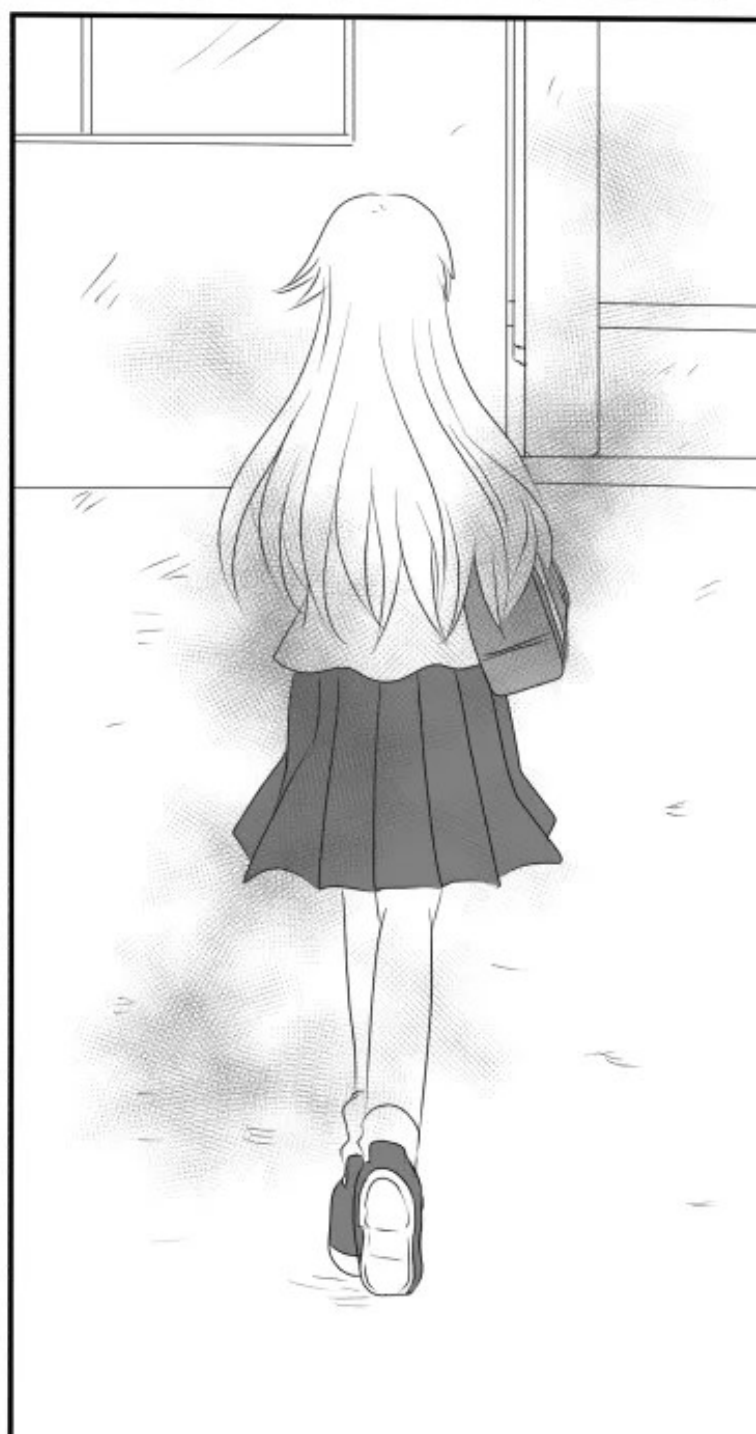


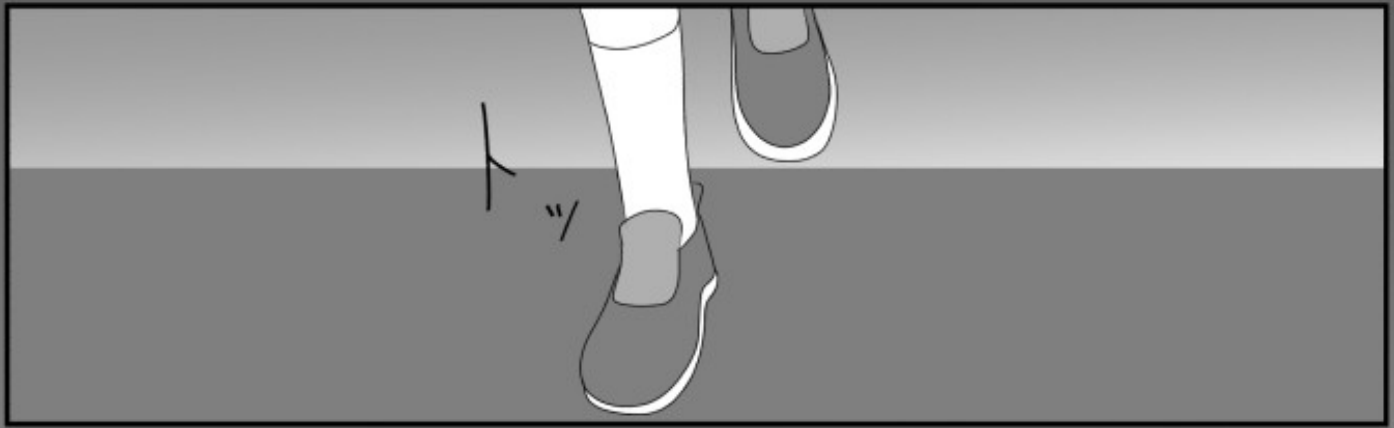


ごめん……！
悠理の事を考えるべきだったな……
悪い……！

ここじゃ
嫌かなって……

あつ……ごめつ
あのねこの間
友達に見られてたから……





前世での
この空間を復活できるなんて!!



凄いわ…

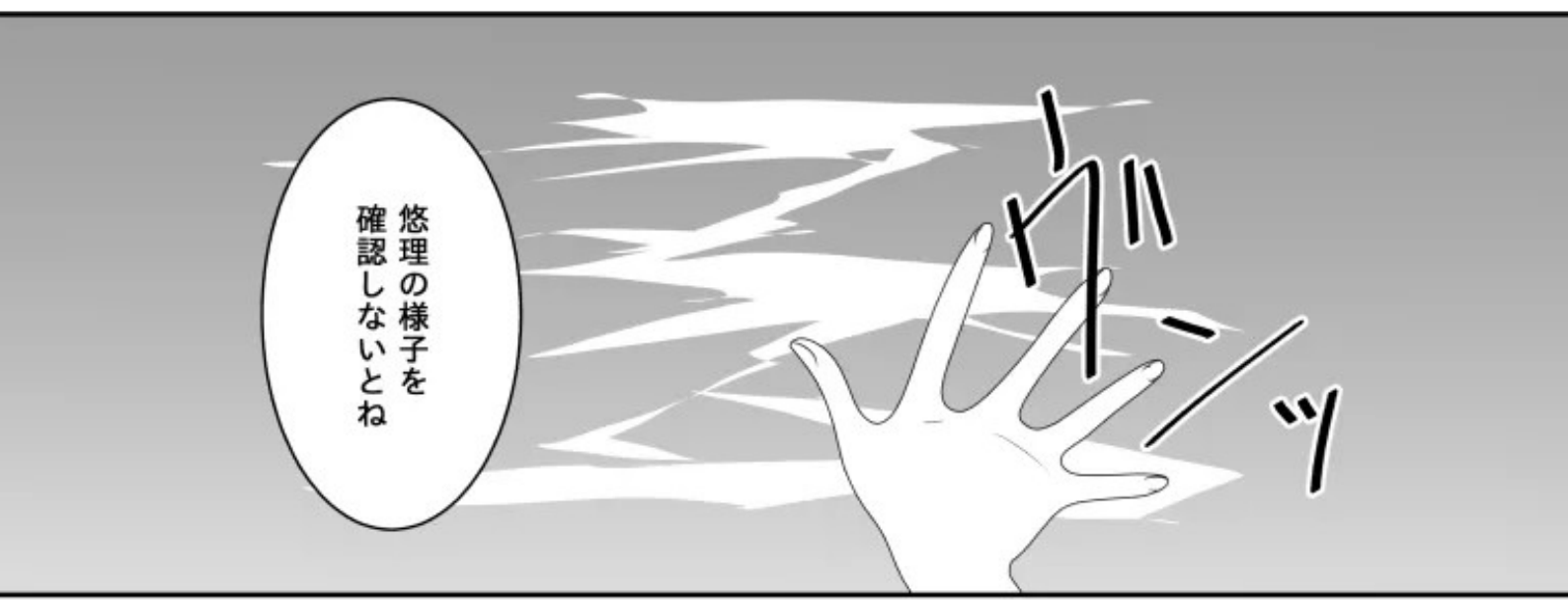


あっ
そうそう…

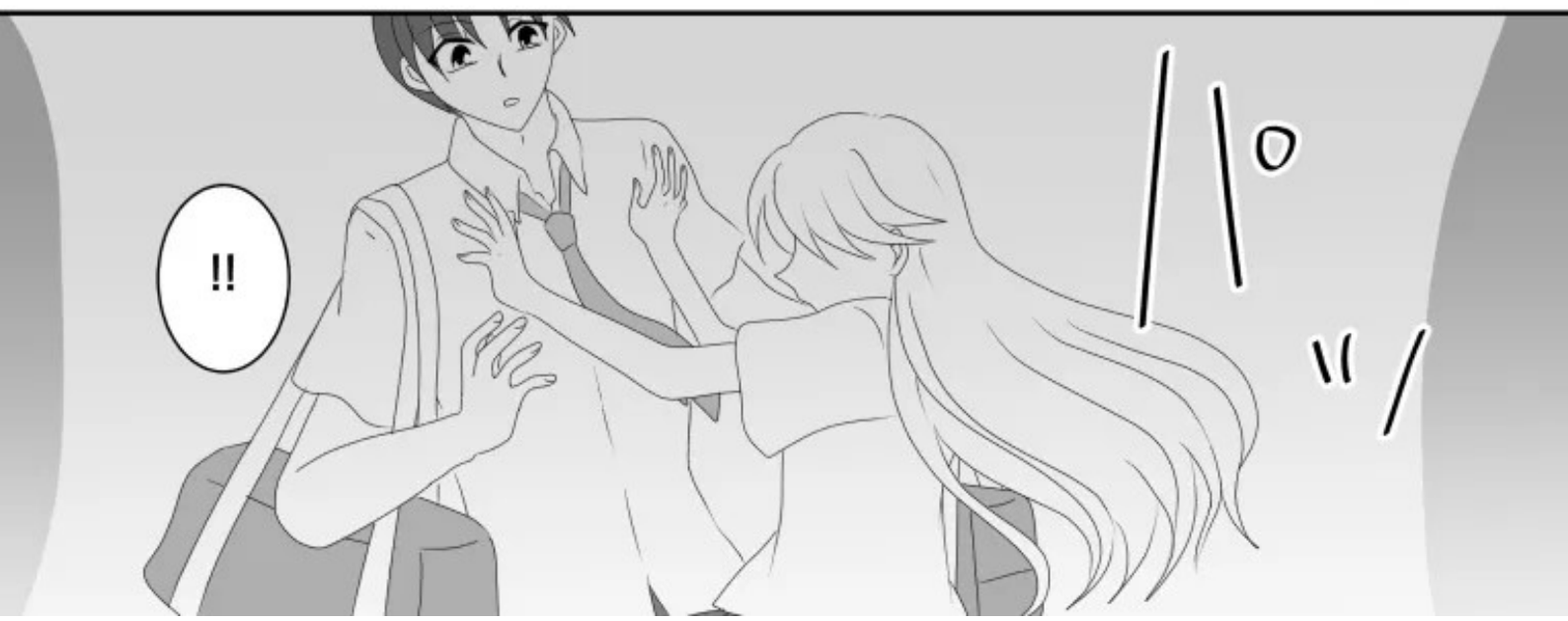


そしてここで
悠理とずっと暮らすわ

ここには
ベッドや色々な物を
持ってくるの



悠理の様子を
確認しないとね



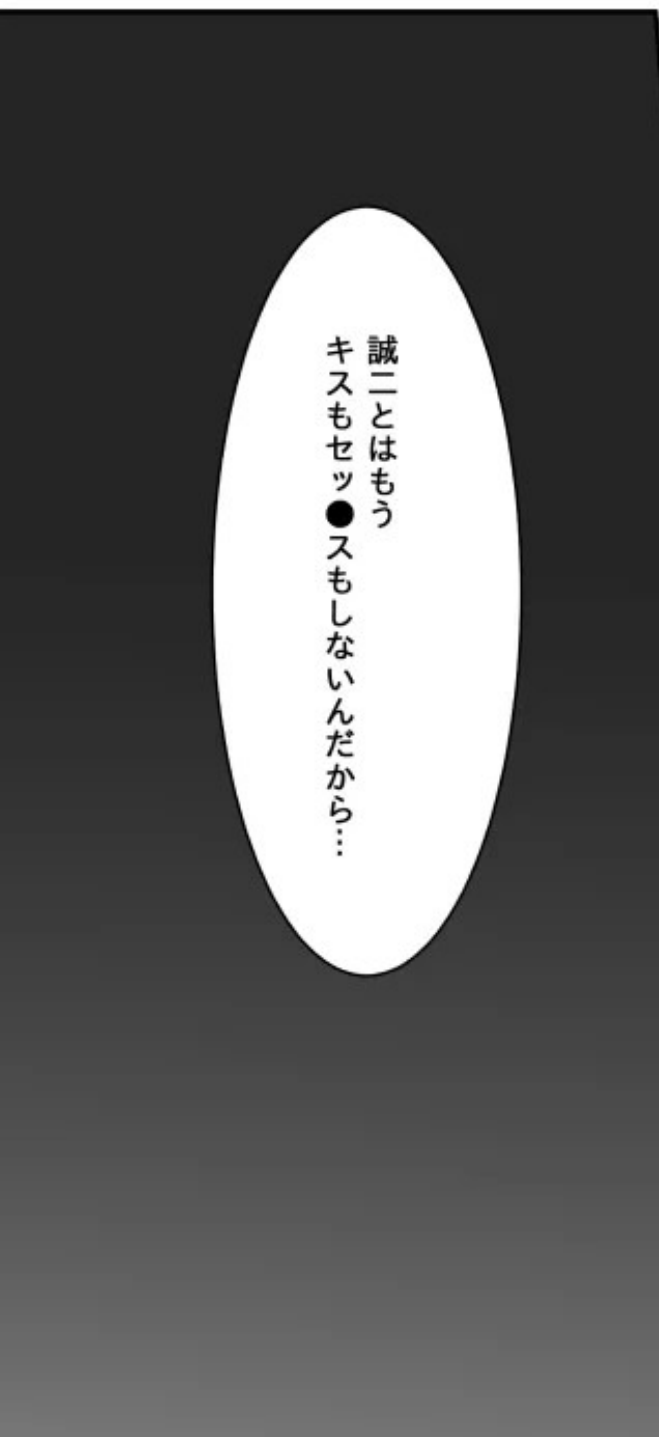
!!



ちゃんと催眠時にかけた暗示が効いてるみたいね



ふふ…



誠二とはもうキスもセツ●スもしないんだから…

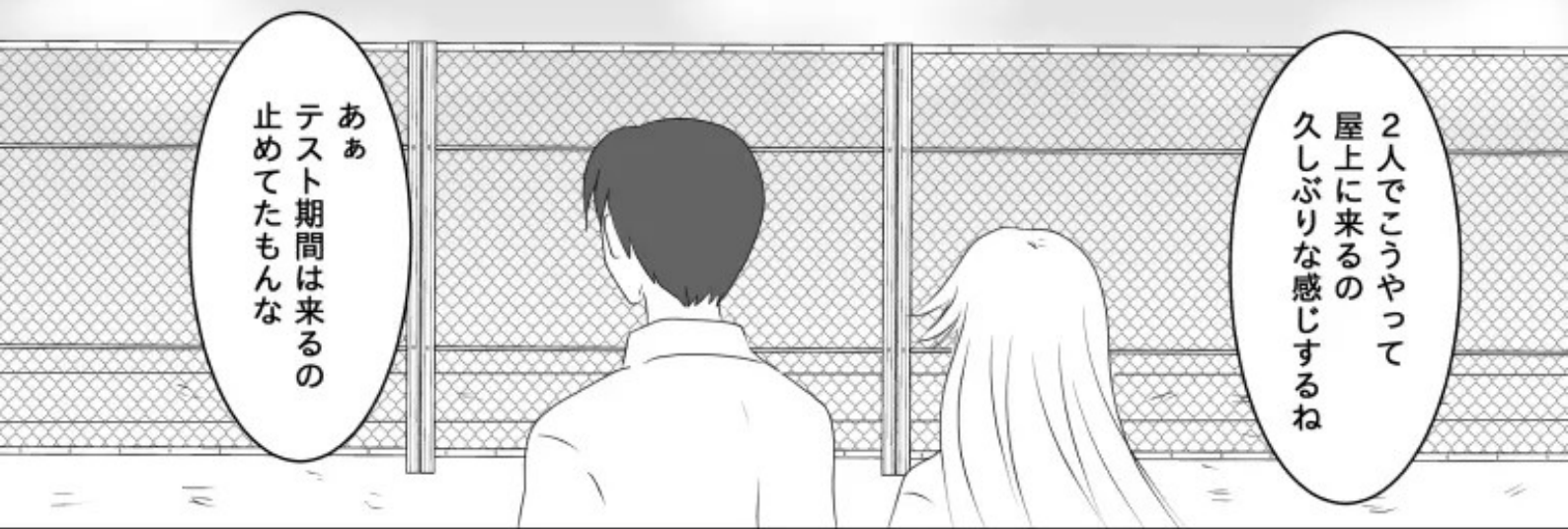


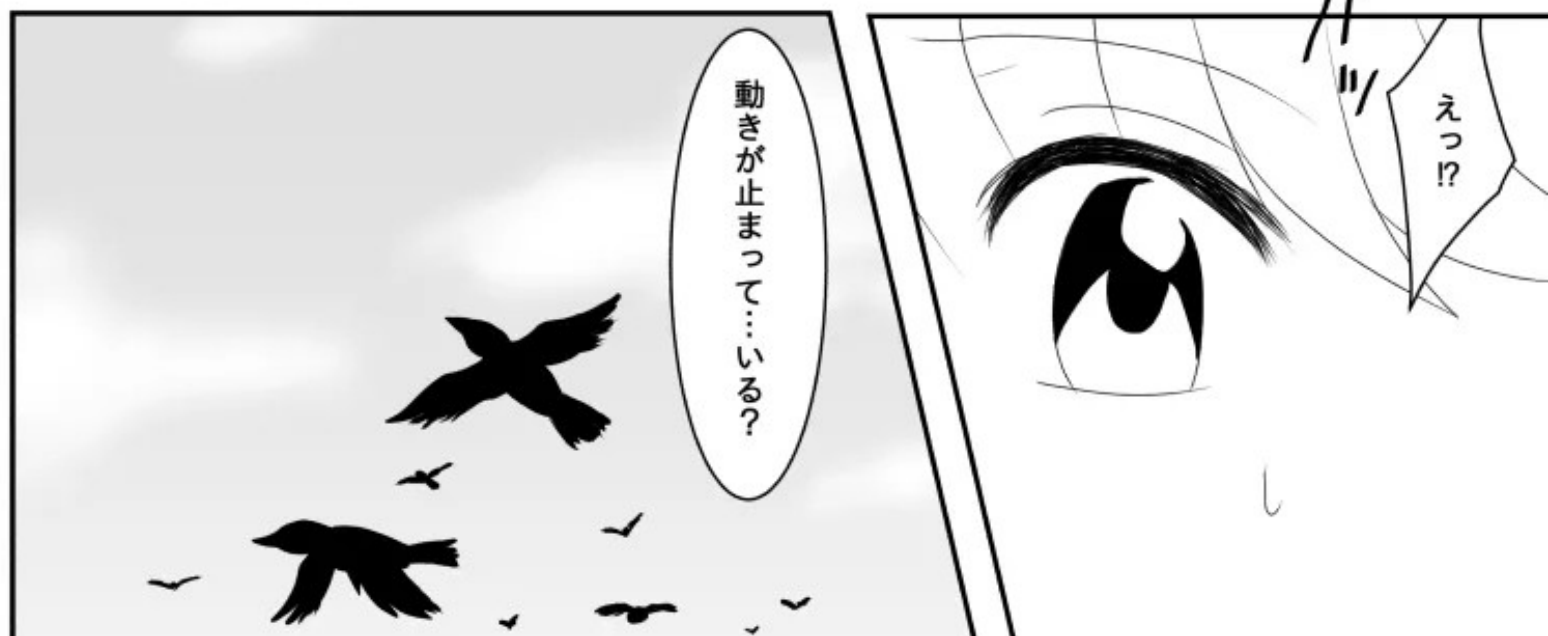
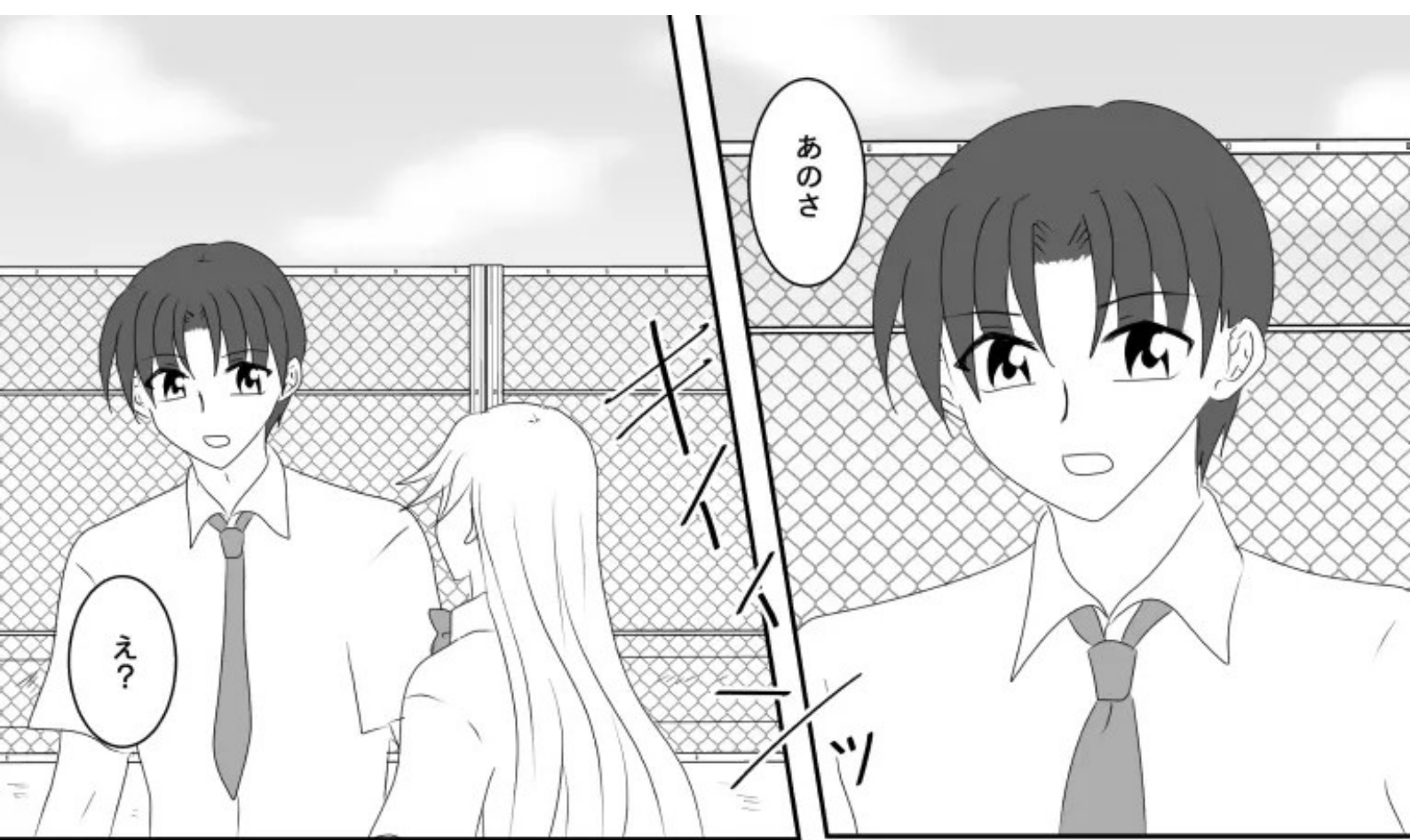
それでいいのよ悠理…

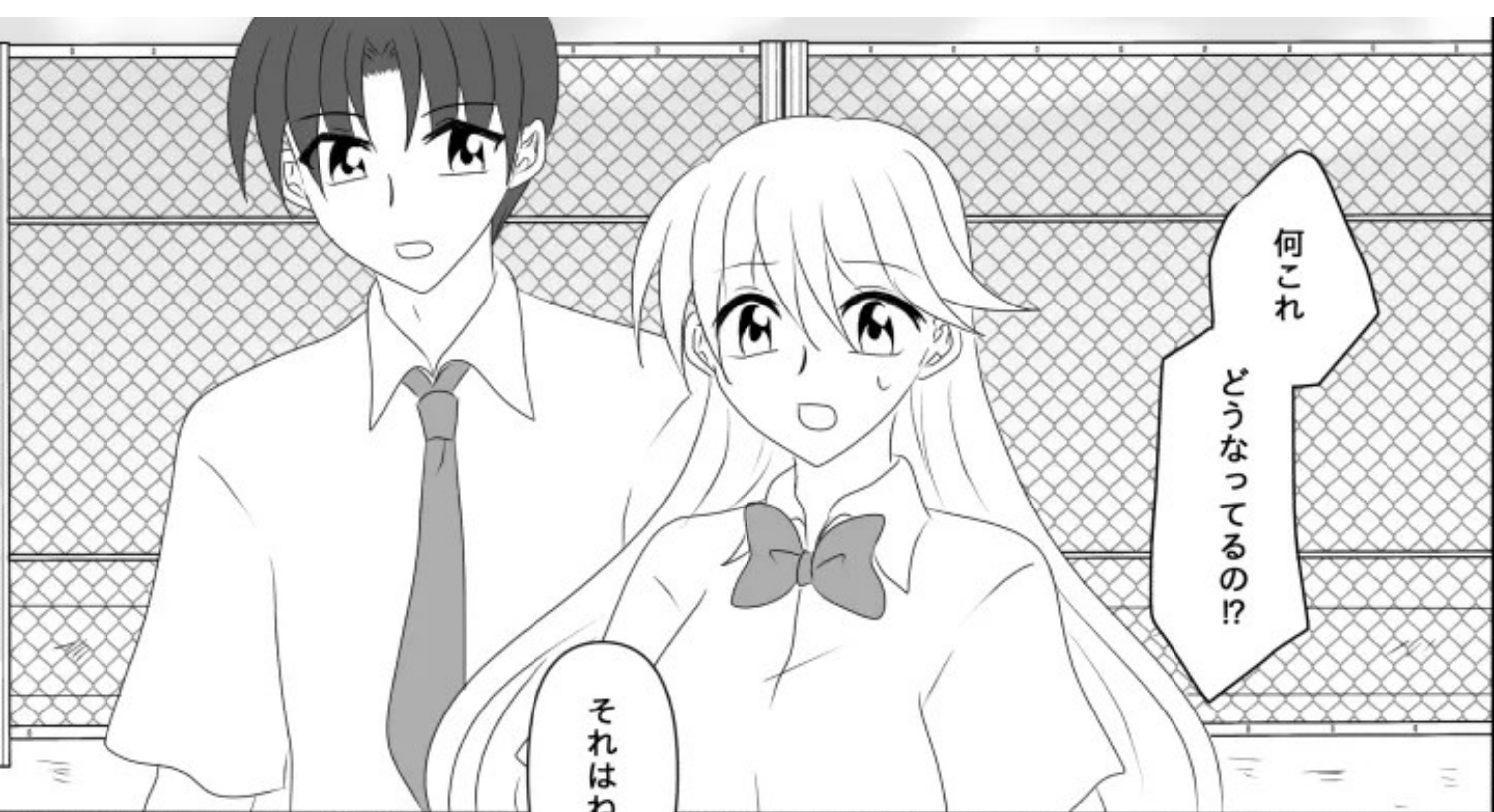


キーン
ブーン
カーン
ブーン...

先生、
私たち小学生
じゃないんだぜ〜w







何これ

どうなってるの!?

それはね…

私が時間を止めたからよ



!?

フンツツ

麻緒!?

時間を止めた?
っていかいきなり目の前に?
どういう事!?

落ち着いて悠理

落ち着けるわけ…っ





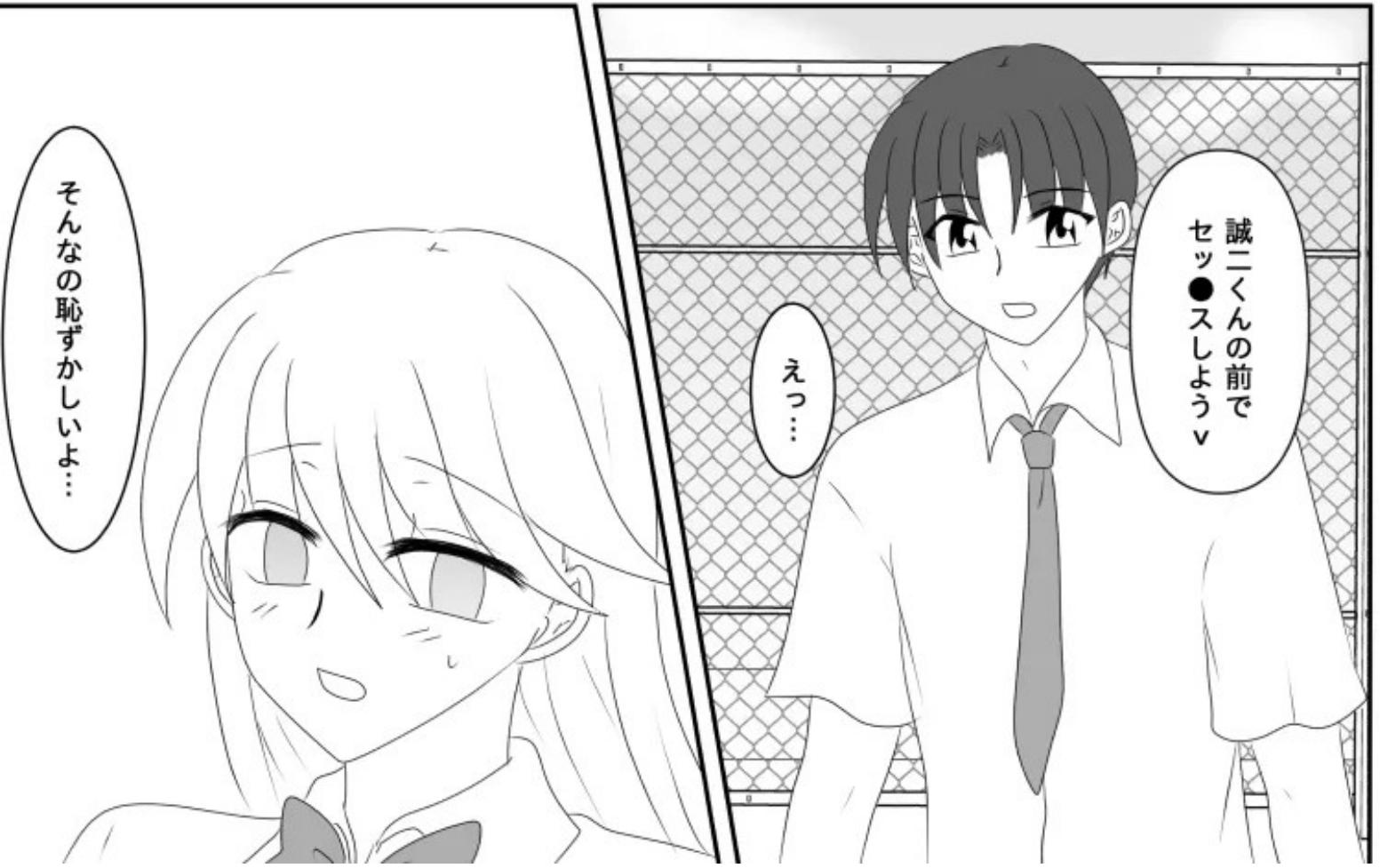
あれ…?
意識が…

ア
ウ
ツ



そうよ
今日はね…

…
麻緒?
またセツ●スするの?



誠二くんの前で
セツ●スしようv

えっ…

そんなの恥ずかしいよ…

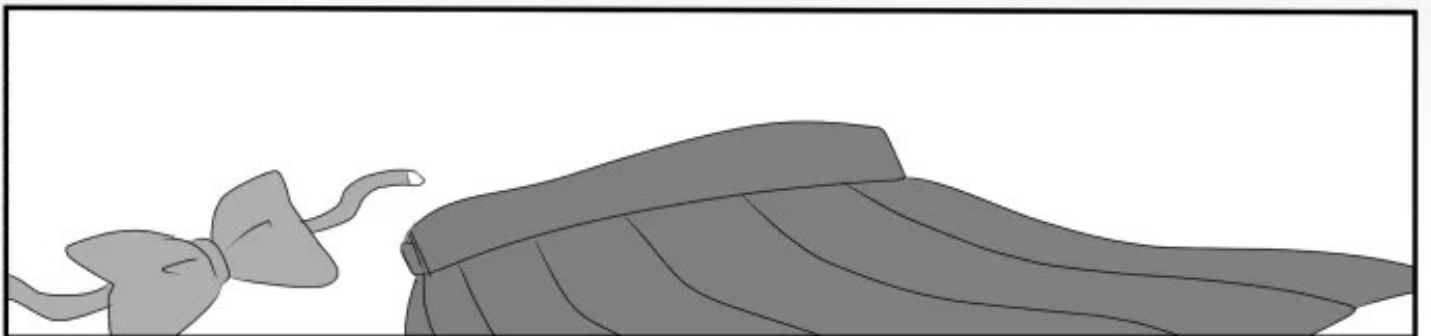


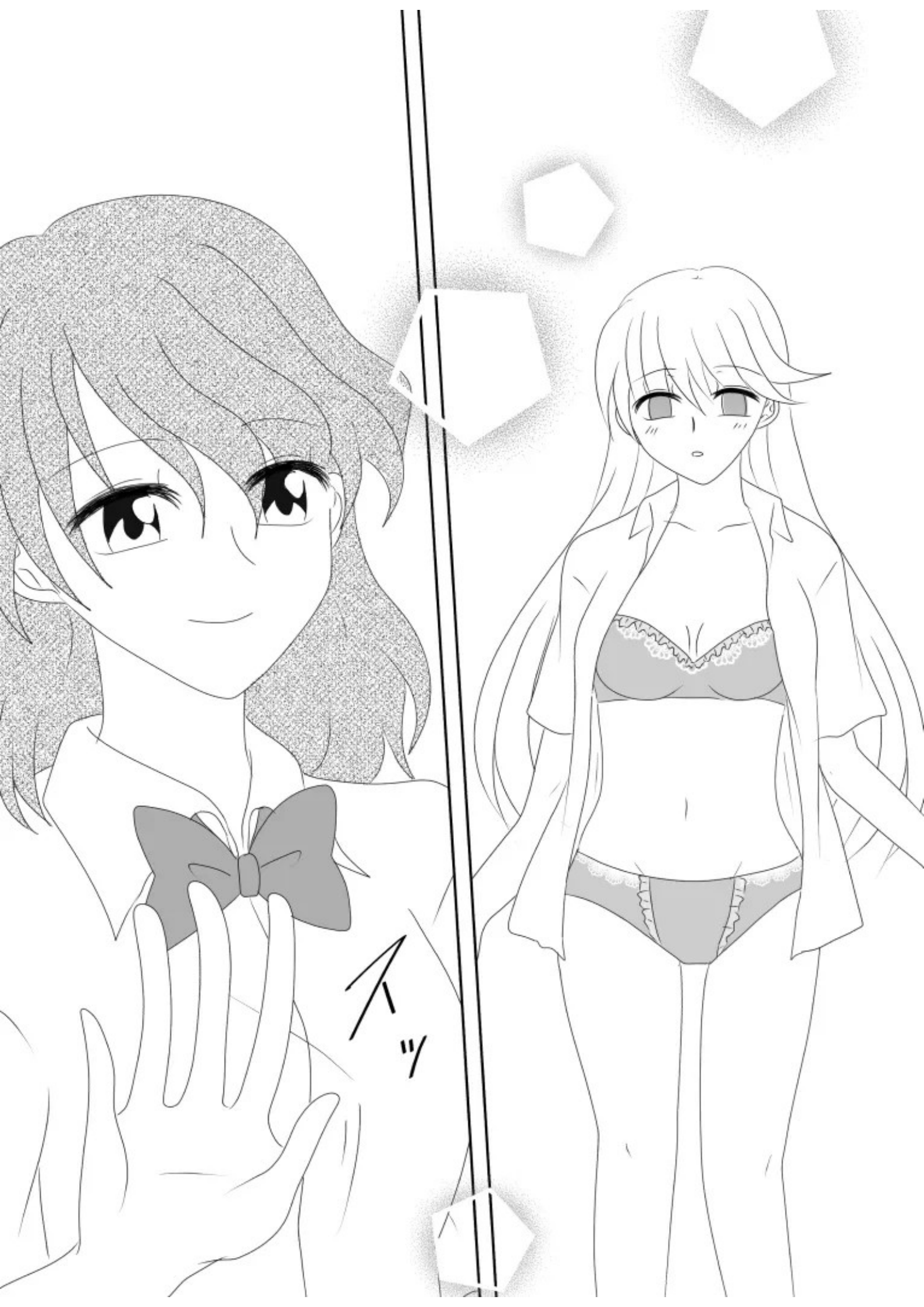
ん…

ふふ…
大丈夫よ悠理

私達以外
みんな時間が止まってるんだもの
恥ずかしがる必要ないわ

それに
みんなが気を失ってる場所で
もう私達セツ●スしてるでしょ？

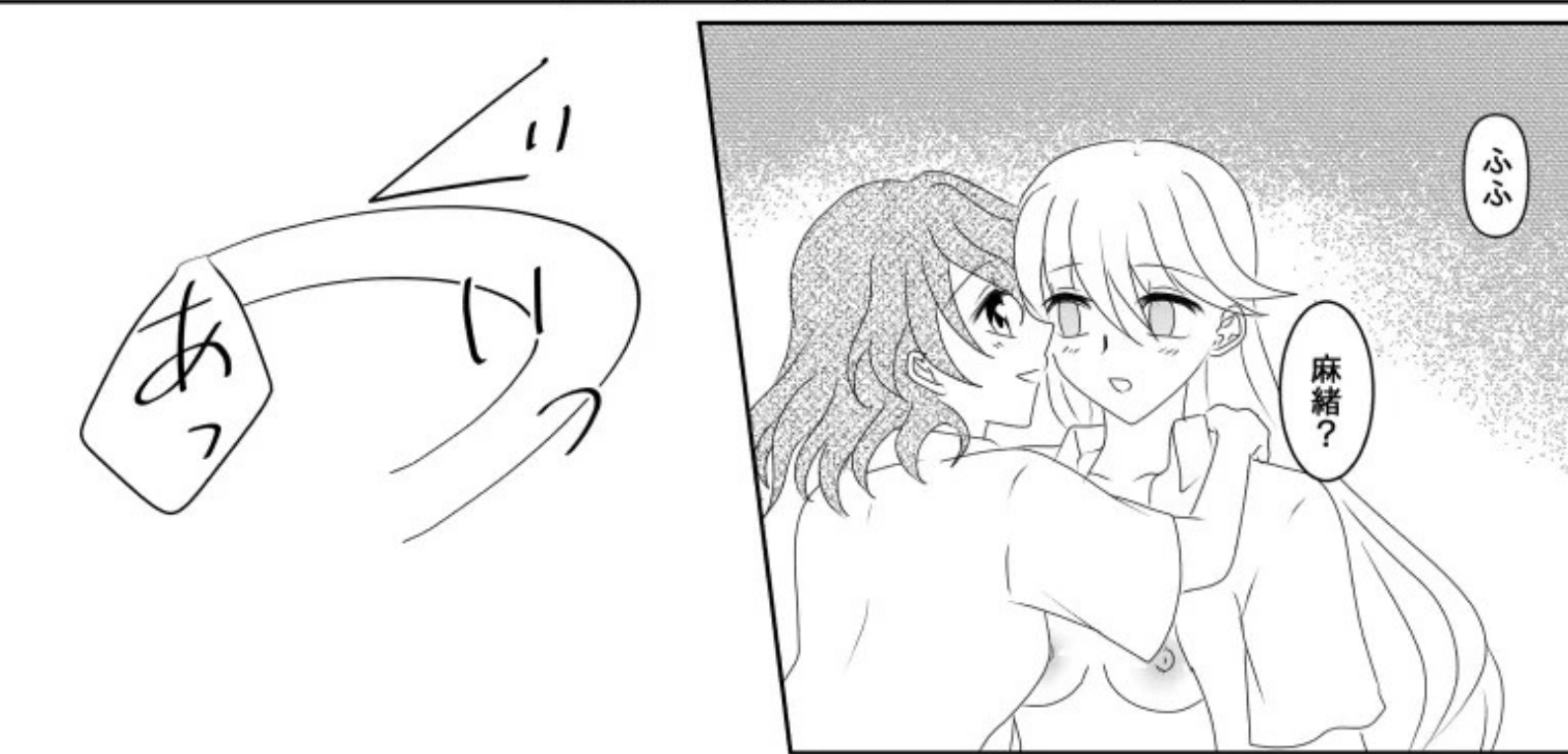






あっ

かゝるん



ふふ

麻緒？

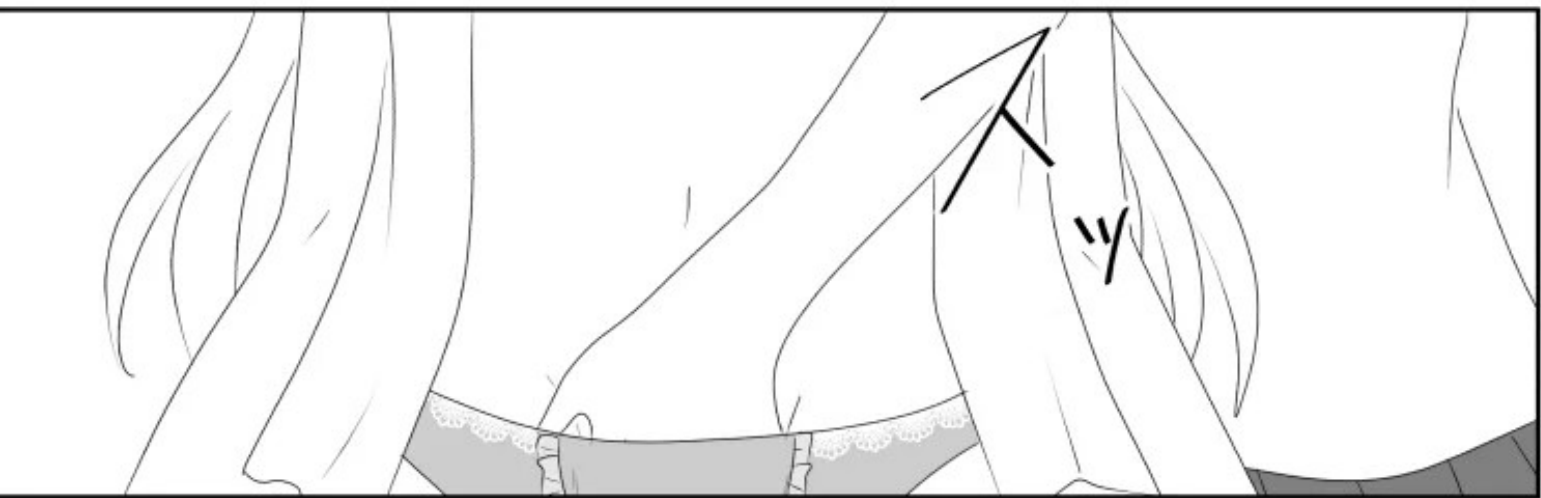
あっ

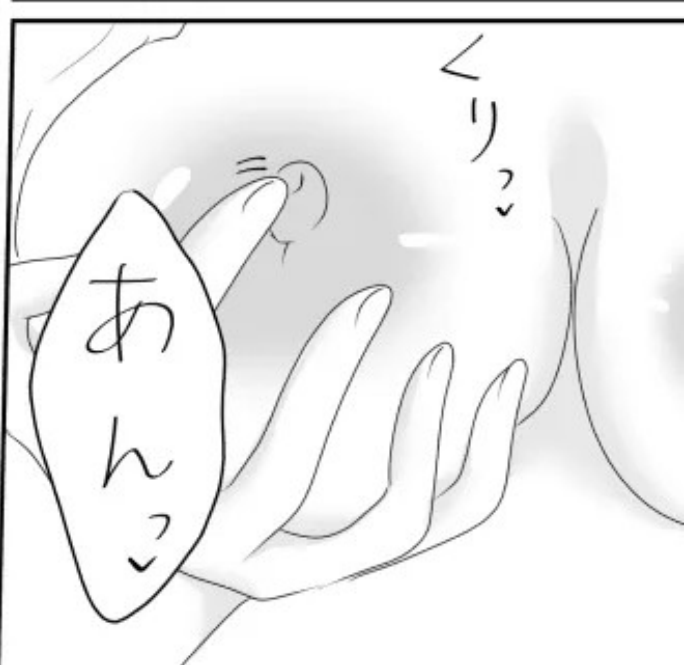
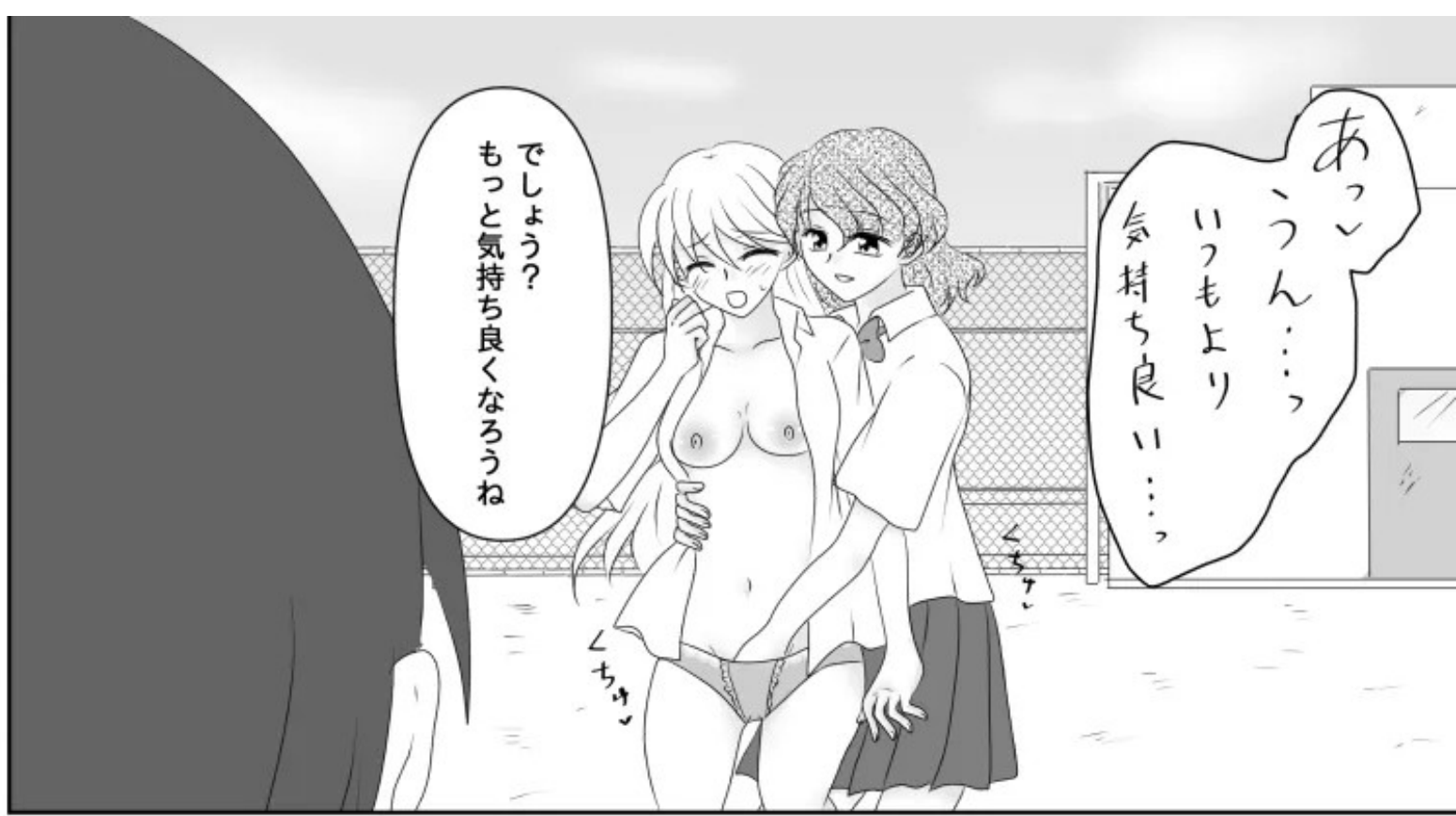


さあ…悠理
誠二くんを見て…

誠二を…？

そう悠理は
これから誠二くんの前で
セツ●スをしたら
いつもより気持ち良くなるの







乳首だって
もうこんな♡

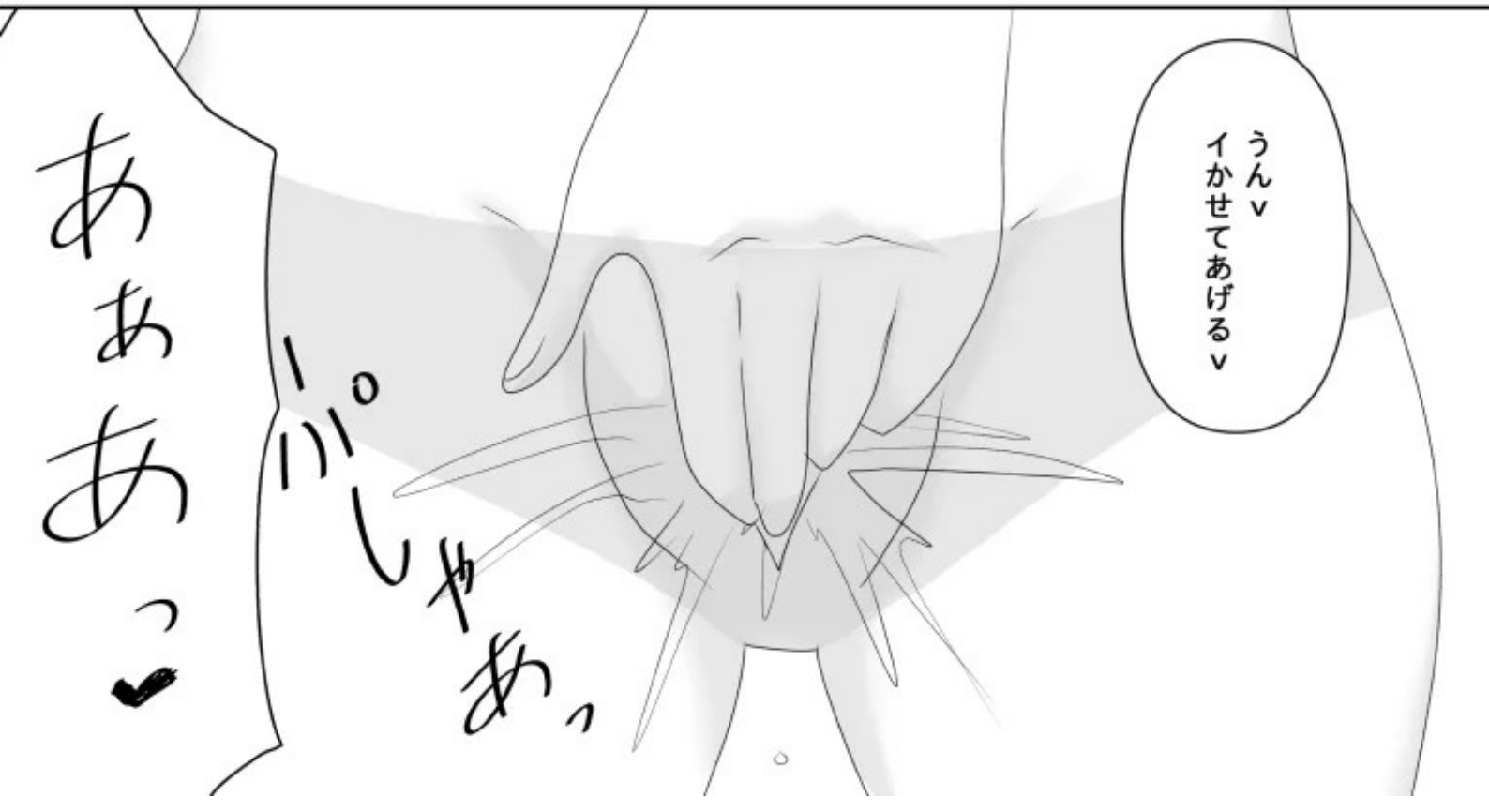


ほら…
中が濡れてる♡



くっ…
もうイキそう♡
イキたい…♡
イかせて♡

ふふっ
指だけでこんなに感じてる
悠理可愛い♡
ねえイキそう？



うん♡
イかせてあげる♡

あああ♡

くっ♡
ちゅ♡

ふふっ
悠理ったら
潮吹きするようになったのね



あ…
恥ずかしいから
言わないで…

はみ…ら
はみっ


麻緒…
早く貝合わせして



悠理
今日はね
貝合わせじゃないのv

え？

ペニスバンドを使うの



今日から
突いてあげるv

いっぱい気持ち良く
してあげるからね

麻緒…v



あっあ

ふふ...
っ
っ
っ



さあ
繋がるう悠理

うん

あ
あ
あ
ん



ぬ
っ
っ
っ



あ
あ
ま
は
や

は
あ
ん

入った

は
あ
ん

は
あ
ん



だって悠理が
可愛いんだもの
止まらなくなっちゃうv

はちゅ

はちゅ

あっ
あん

はちゅ



ねえ悠理
これ私の形覚えててねv
次は本物入れるんだからv

あっ
ちゅ
がっ

ぬ
がっ

あっ
おん
ほえん

ぬ
がっ



ほら
もっと感じてv
誠二くんが見てるよv

あっ
あん

はちゅ

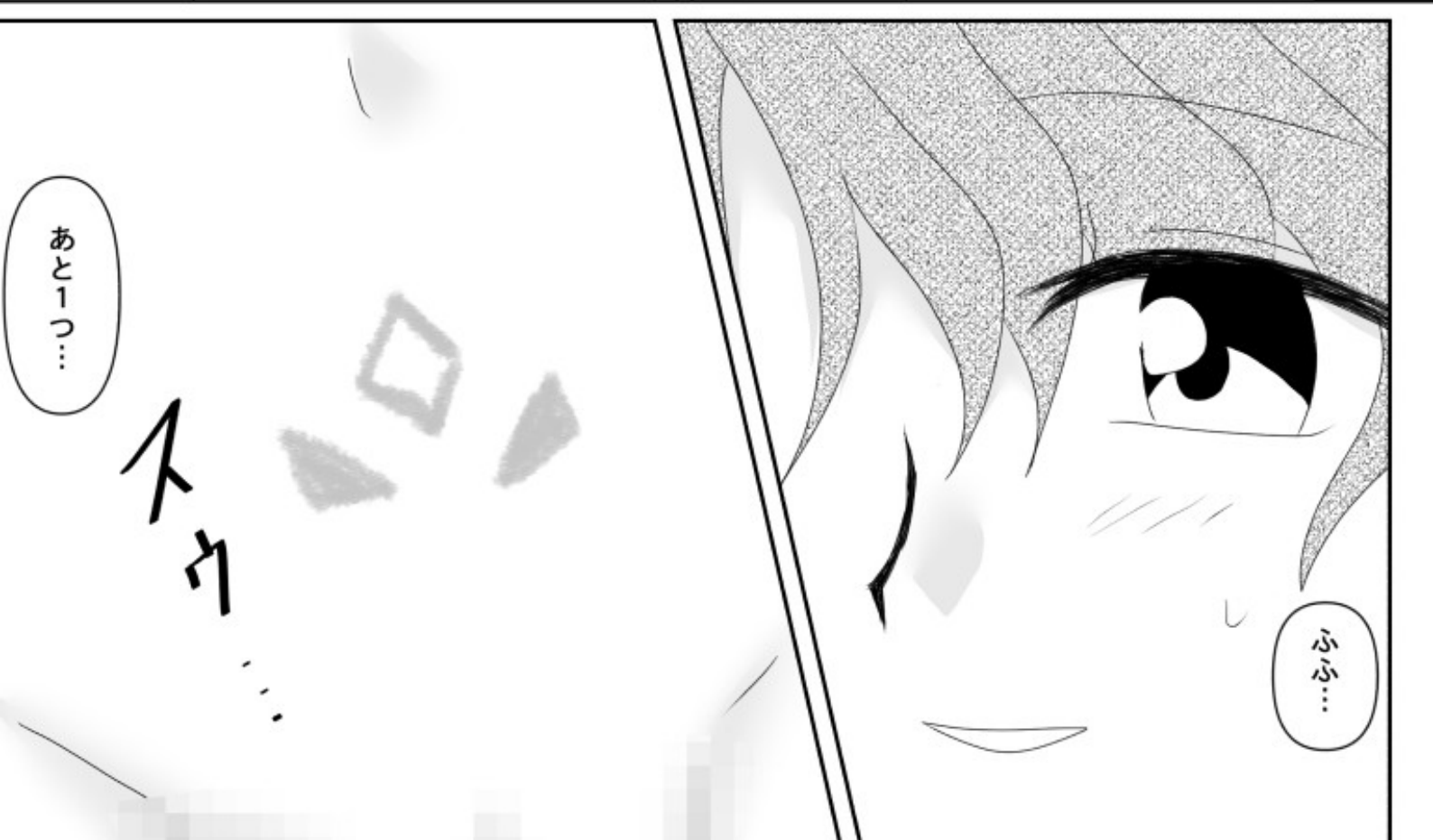
はちゅ

せいの前で
すい
みもち良いっv

ふふふ
そうそうその調子v

はちゅ





ダメ…
もう立ってられ…ない

とっ
たっ
っ

ちよつと悠理
この後誠二君を
誤魔かさない
といけないんだから
しっかりしないと…



無理だよ…

はあっ…
はあっ

あら
それじゃあ…
こうしようか…



ノッ
ノッ
ノッ

あのさ









ちょっと話聞ってる？



!!



悠理に何かしたか？




今瀬...



は？

何言ってるの私今ここに来たばかりだし親友に酷い事するわけないでしょ

今瀬と悠理から魔のエネルギーを感じるんだ

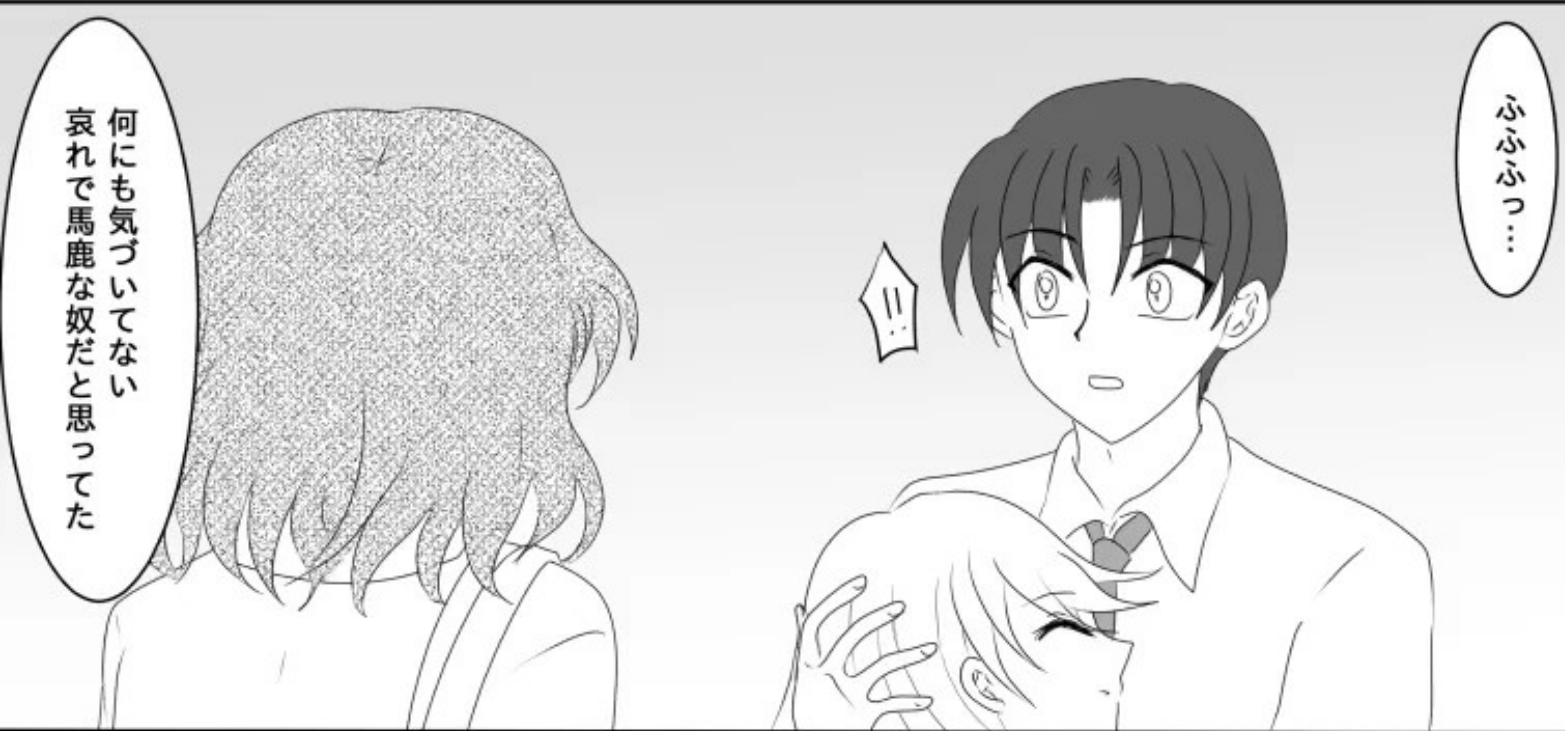


なあ今瀬…
何で君から魔王のエネルギーが
出ているんだ…!?

最終話

『堕ちた神子は魔王と共に生きる』







魔王の空間!?

んんん...



これで信じてもらえた?

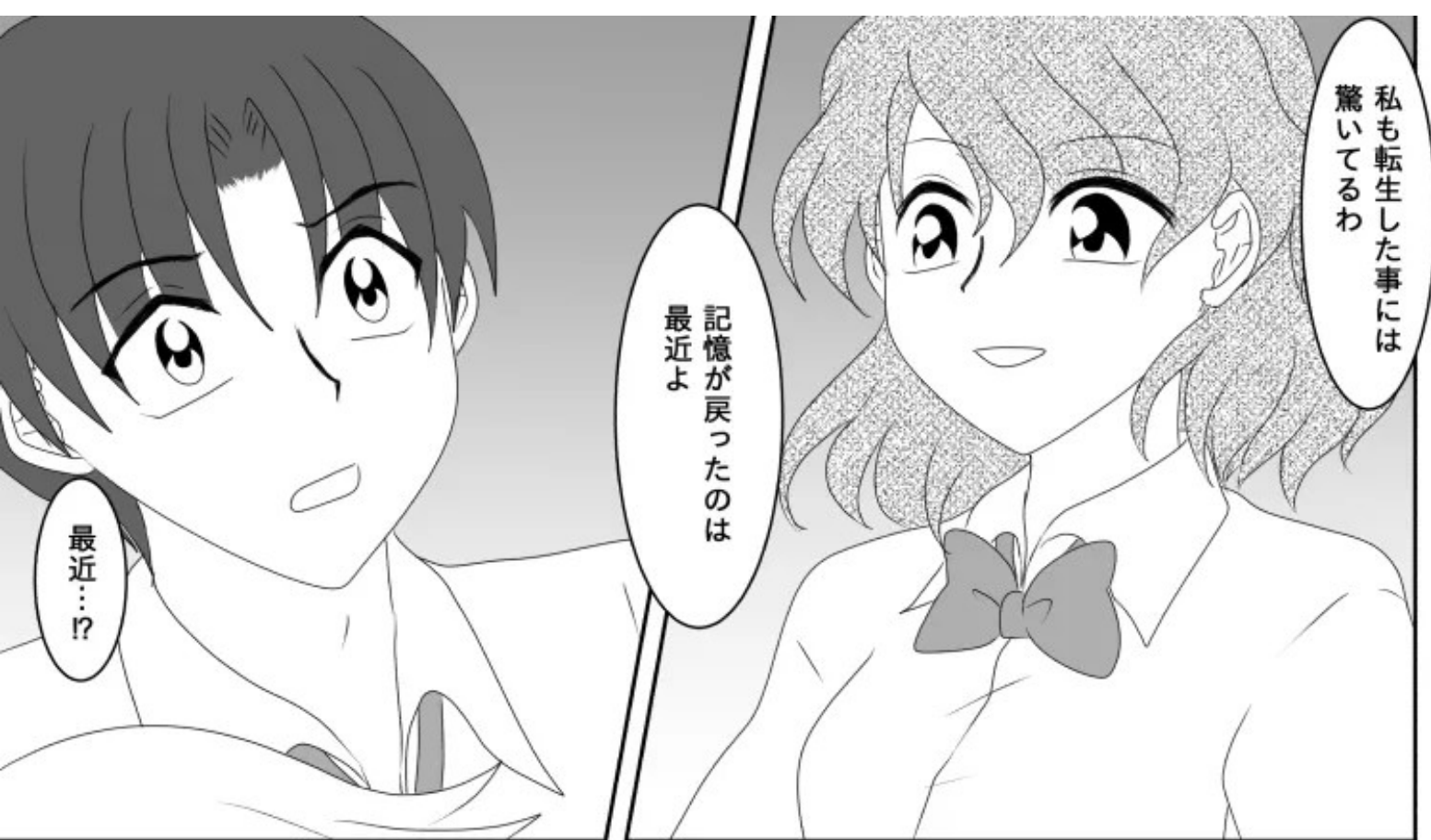
本当はアンタを
この空間に
連れてくる計画じゃ
なかったんだけどね...

倒した魔王が
俺達のように転生してたなんて
まだ信じられないが...

今瀬... 一体いつから?
まさか最初から記憶があって
悠理に近づいていたのか!?

フ
フ
...





私も転生した事には
驚いてるわ

記憶が戻ったのは
最近よ

最近…!?




私はね
悠理が好きなの
子供の頃からずっとね

だから
2人が付き合いだしたと聞いた時も
シヨックだったけど…
悠理が幸せなら…って
思うようにしてた…

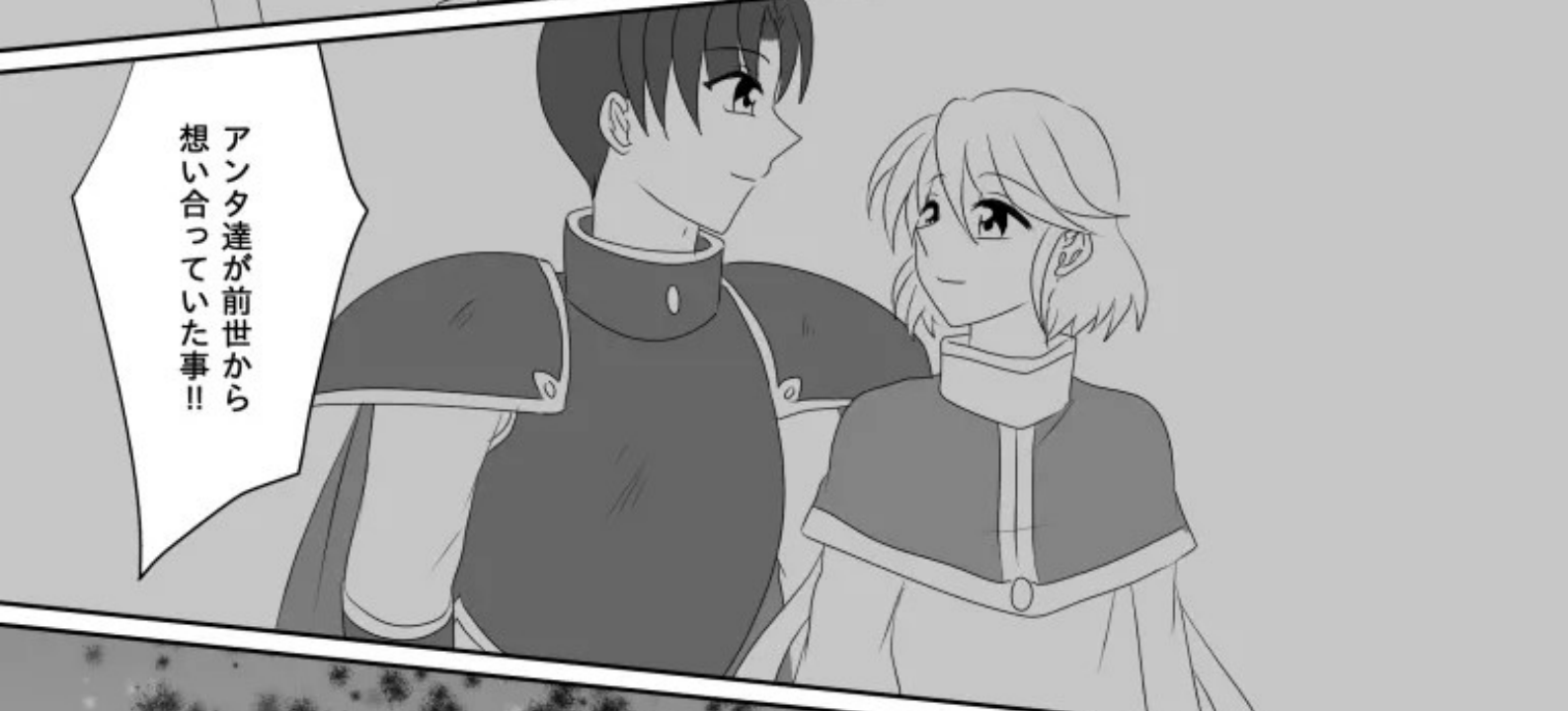
でも実際キスをしてる所を
見た時悲しくてしょうがなかった




その日よ
私が酷い頭痛に襲われて
前世の記憶を思い出したのは…!



私が神子の力を
手に入れようとしていた事!!



アンタ達が前世から
想い合っていた事!!



アンタ達に
倒された事…!!
全てね!!



思い出した私は思ったわ
今度こそどんな手を使ってでも
神子を手に入れてやるってね

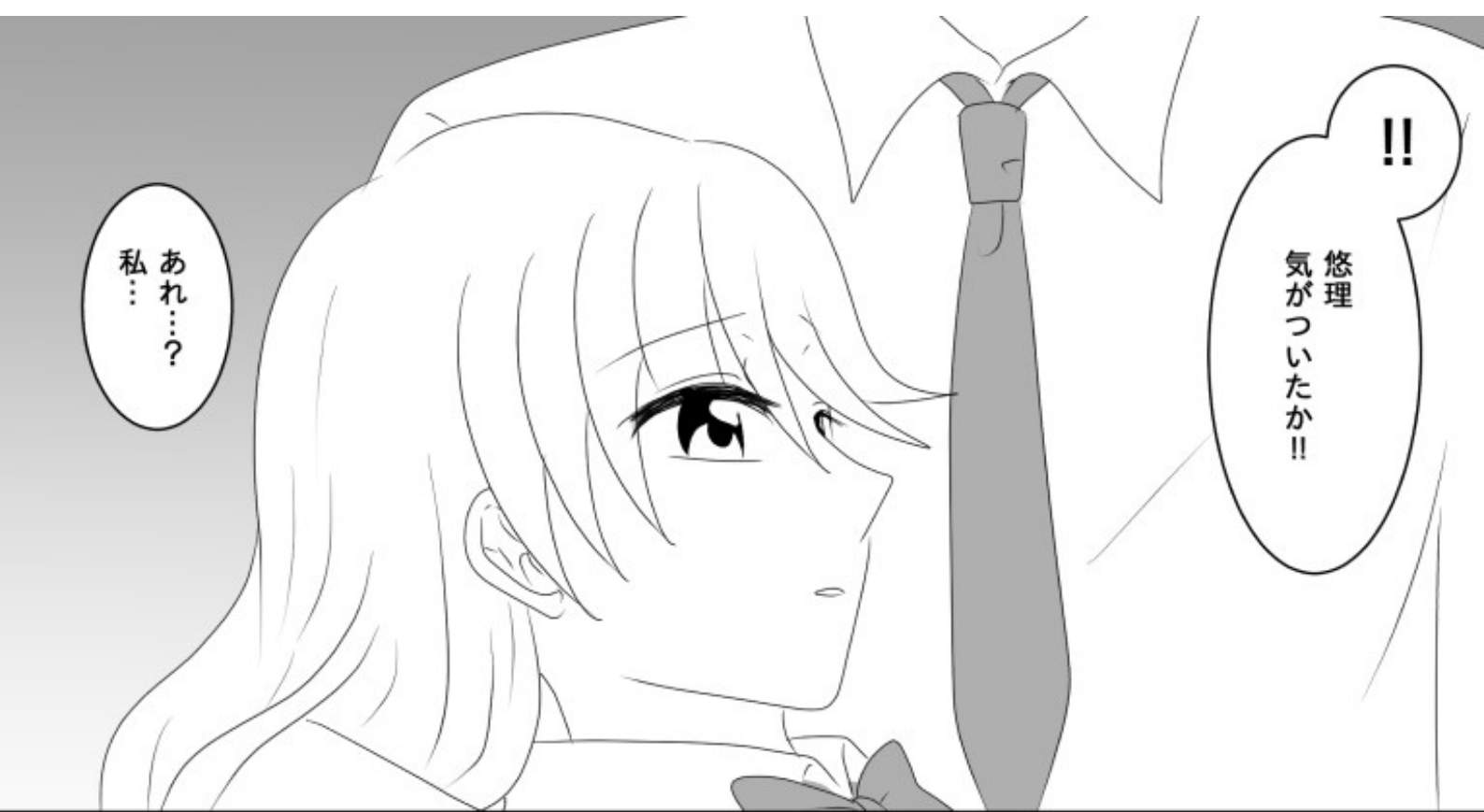


再び巡り会うなんて
凄いわよね…



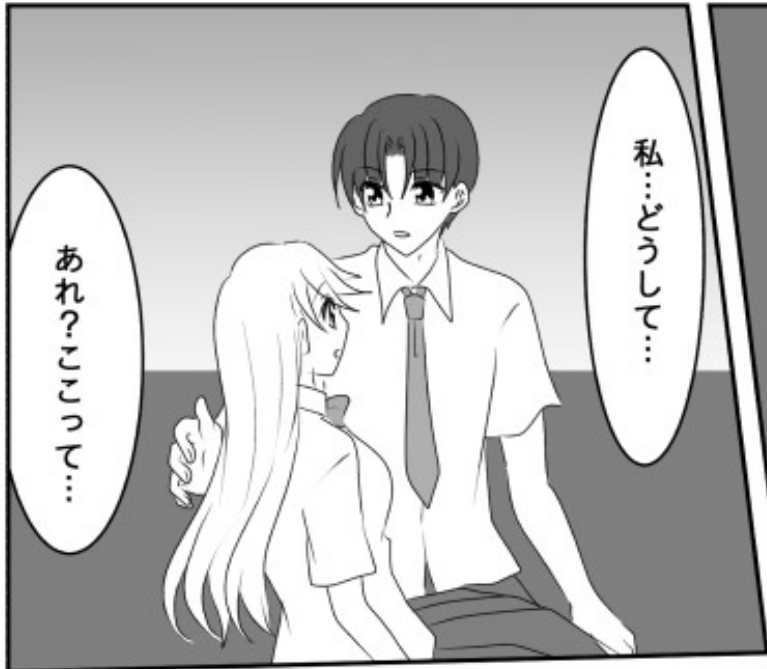
まさか…っ
それで悠理に
魔のエネルギーを!?

う…んう…



あれ…?
私…

!!
悠理
気がついたか!!



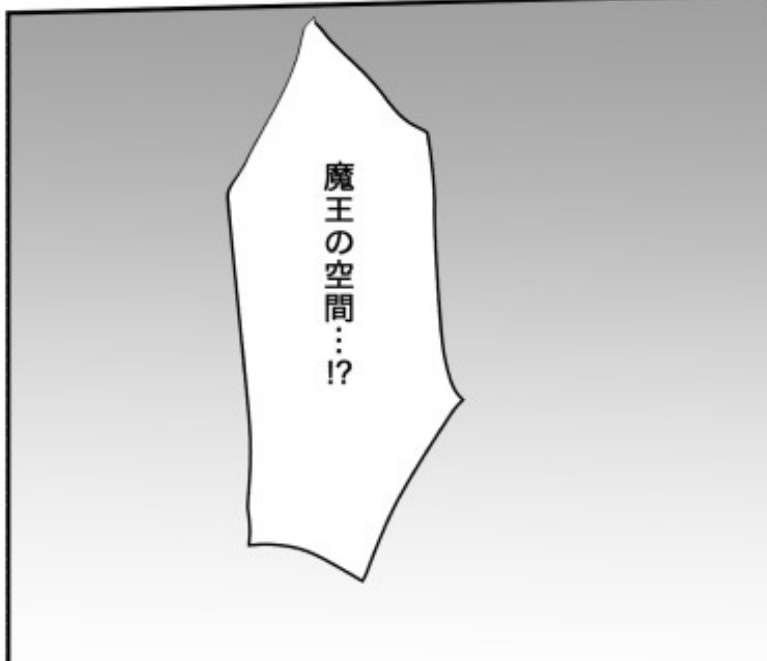
あれ…ふんふん…

私…どうして…



えっ

誠…??



魔王の空間…!?

そう
ここは魔王の空間…

ふふ…
どう？ 悠理…
懐かしいでしょう？

え…

ま…お？

さあ悠理
時がきたわよ

ダメだ悠理!!
近づくな!!

麻緒?
どうしてここに居るの…?

思ひ出すのよ

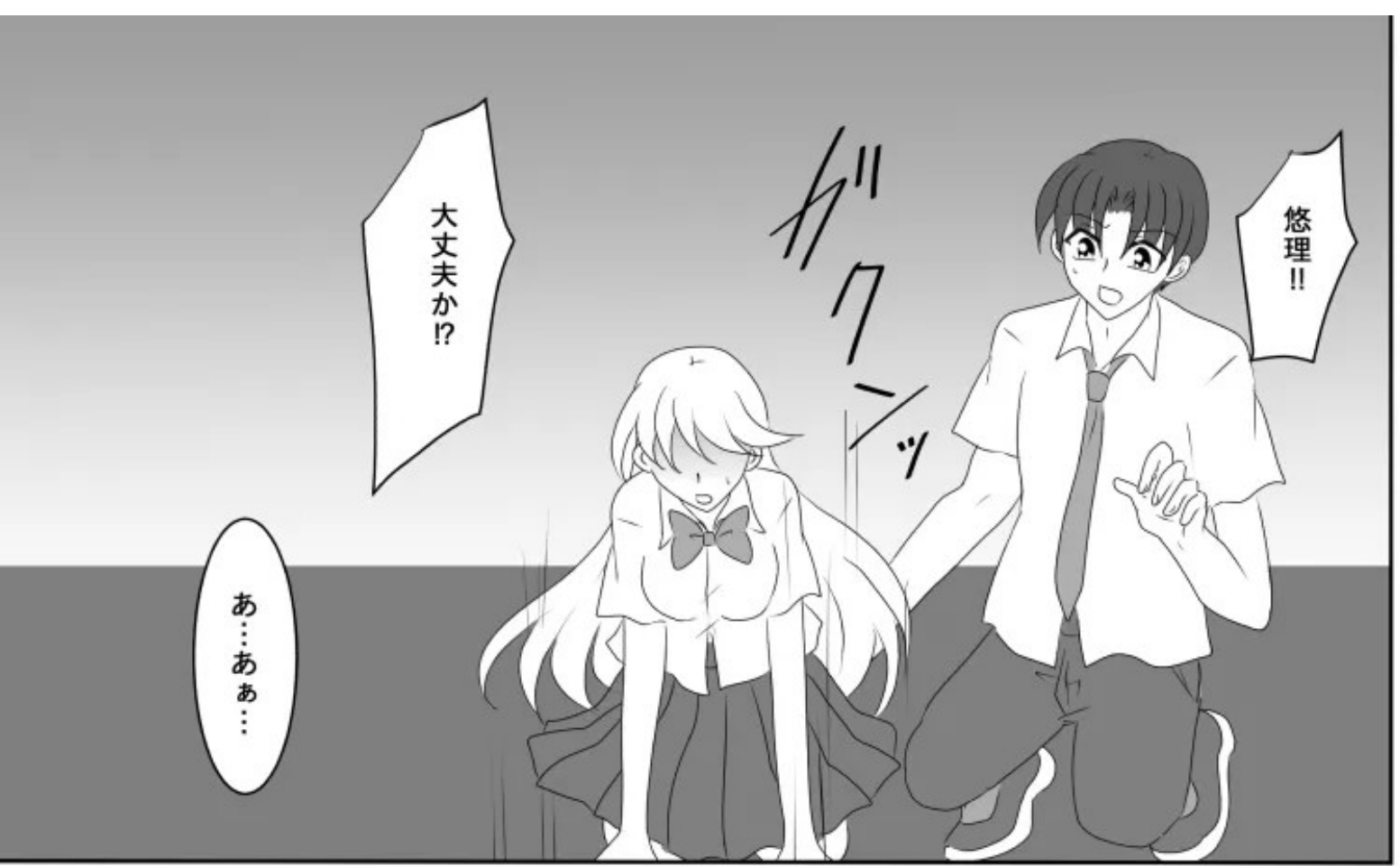
110
チ
ン
ッ

ピ
ク
ン
ッ

あ
あ
!?
!

悠理!!





大丈夫か!?

悠理!!

カクツツ

あ...ああ...



嘘...

私...

どうしたんだ
悠理!!



ふふっ

悠理はね

やめて麻緒!!
言わないで!!

私と
セツ●スしたのv



私が悠理とセツ●スをして
魔のエネルギーを注いでたからよ

悠理から何で魔のエネルギーを
感じるのか
それはね…



は？



あと一回
魔のエネルギーを注げば
悠理は墮ちるの

え！？

／／
／／
／／



麻緒…!!

悠理!!

目の前で見せてあげる
悠理と私がセツ●スをする所を！
悠理が堕ちる所を！

なっ!?



そこで大人しく見てるのね



っ!!



何だ!?
声が出せない...!?

麻緒!!
お願い止めて!!

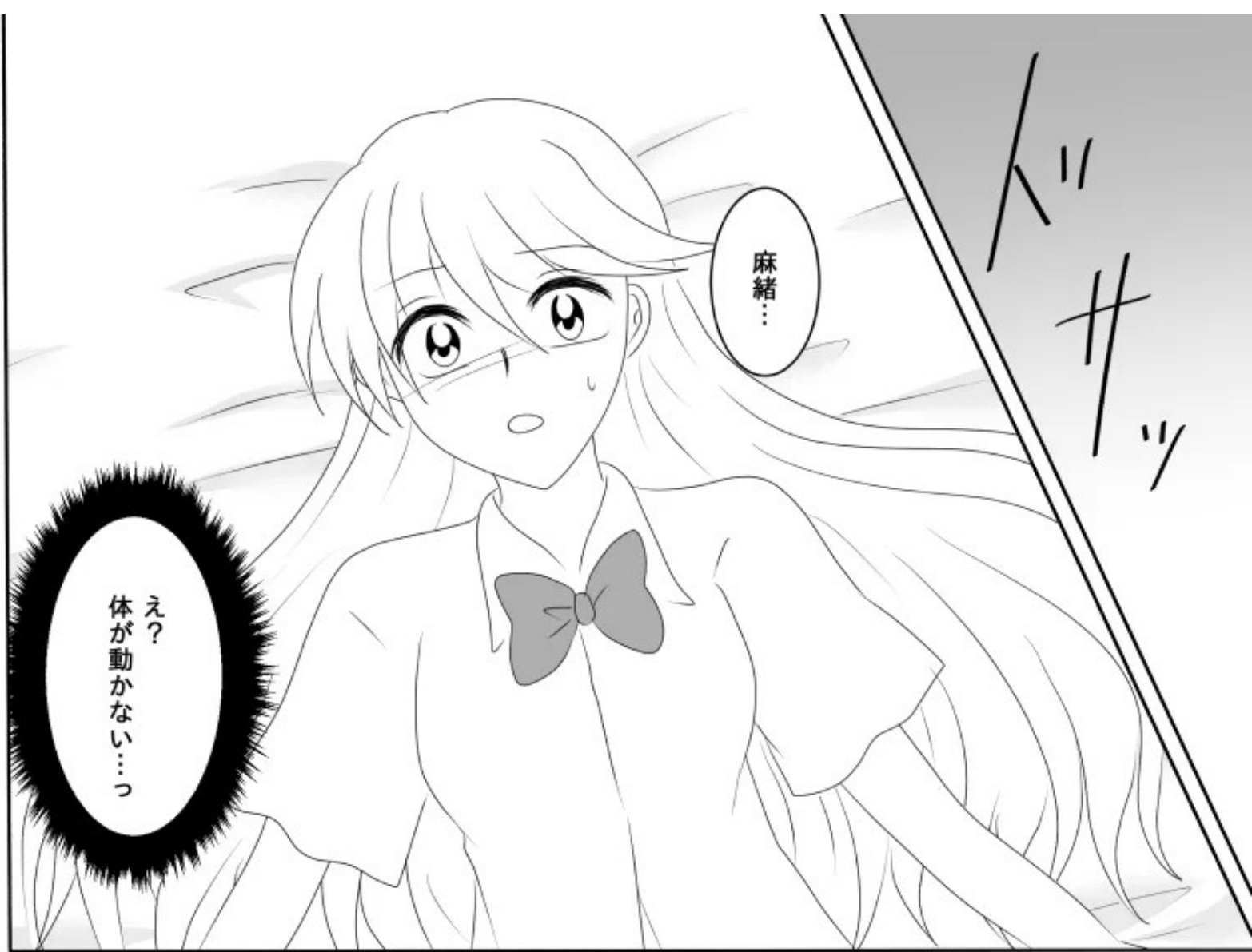
悠理…

それは出来ないわ

私言ったよね?
悠理の事が好きだって…

私は
どんな手を使っても
悠理を手に入りたいの

わっ



麻緒…

え？
体が動かない…っ



すぐに誠二くんの事なんて
気にならないようにしてあげる

んっっ



んっ

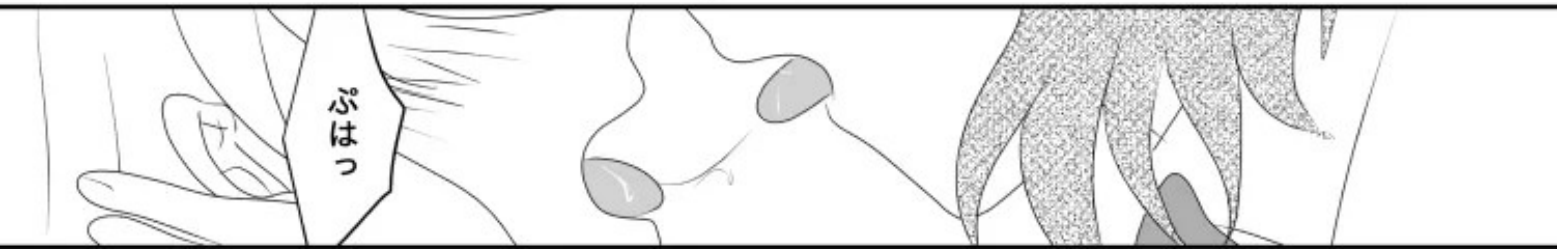
んっ

ちゅっ、くちゅっ



…っ

くそ!!
早く悠理を助けないと…!!



んっ



ふふっ
催眠にかかってない状態で
私とキスしてどう思った?
気持ち良いでしょう?

はあっ

はあっ

な…なんで
こんなに
感じちゃうの…

はっ



感じるのって
催眠にかかってた時に
キスしてただけじゃなくて
さっき屋上で誠二の前でする事に
快感を覚えさせられたせい...?
誠二に見られてるから?

正解v



ハ
チ
ニ

ブ
ワ
ア
...

きゃっ!?



あぁっ!?
服が…!!

さっきと違って
誠二くんはちゃんと見てるから
余計感じやすいかもねv





さあ悠理
再開するわよ



やっぱり
もうイっちゃう？



じゃあ今度はちゃんと
誠二くんに見てもらわないとね
いくところv

ほら
行ってv悠理v

だめっ
いくっ、いっ、ちゅら





悠理
まだ終わってないんだからね

グ
イツ

きゃっ

屋上でセッ●スした時に
言った通り…

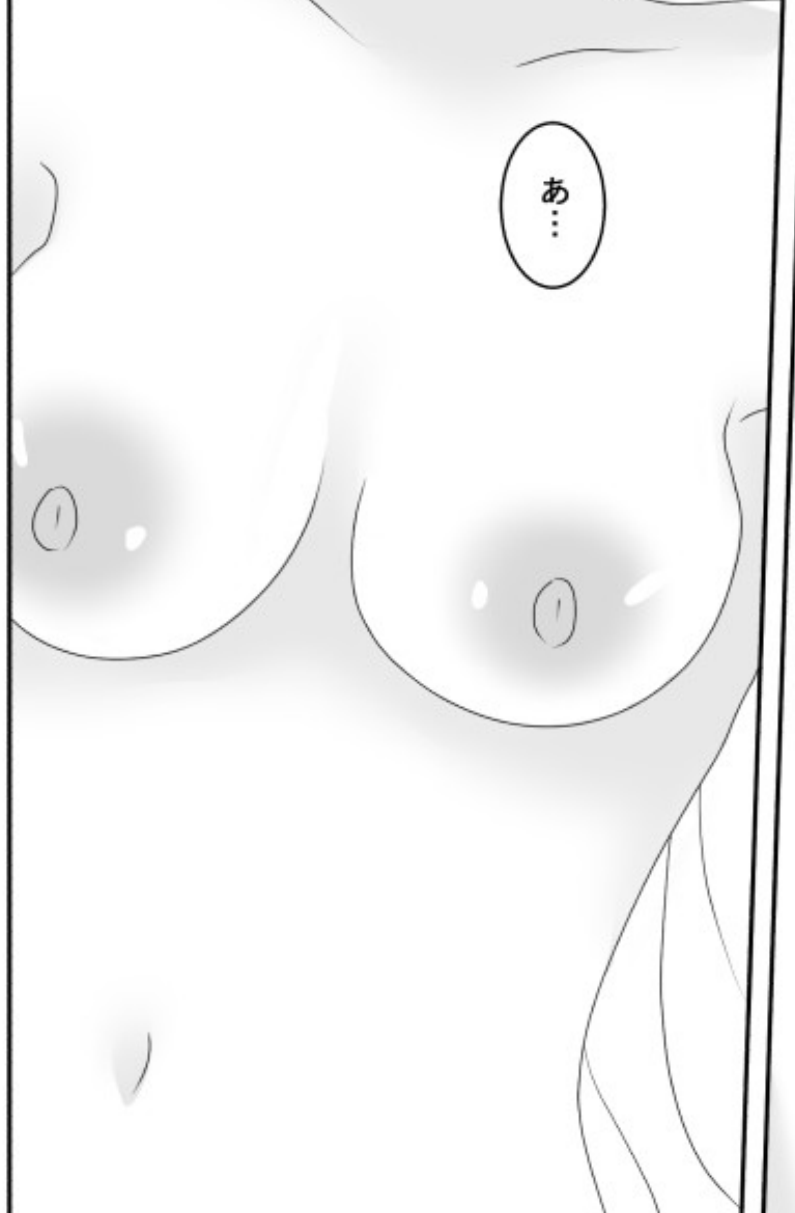
あ…

ああ…

今から
ち●こ生やして
悠理の中に入れるからねv

とろろ…







繋がるうゝ
いっばい突いてあげるゝ

やっやっ

あっ!?

カ
バ
ツ



ひゃっ

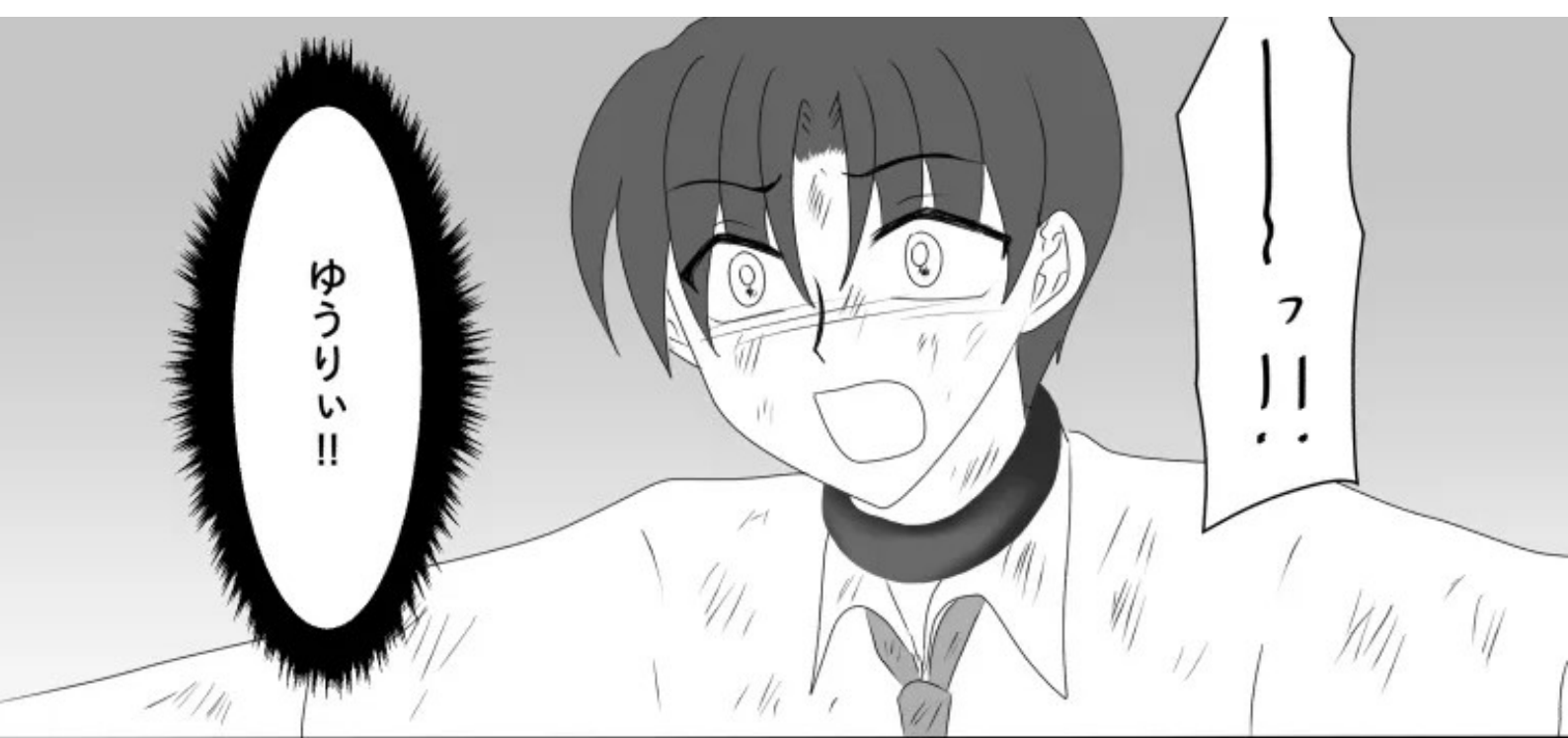
ぬ
い
っ



やめる!!

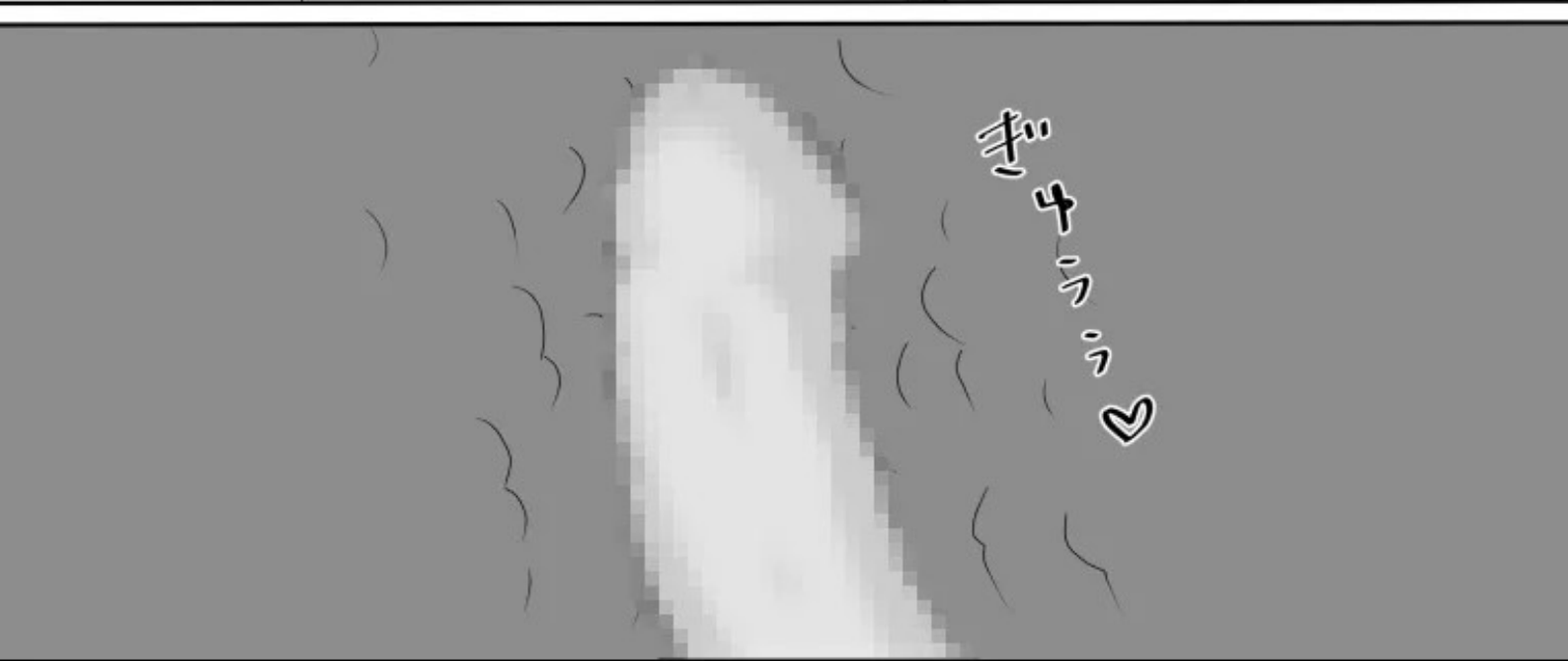
止めてくれ!!





ゆづりい!!

っ!!



おやっらん♡



すごい…
悠理の中あたたかくて
締め付けてくるv

あっ…あぁっ…



何で…
こんな事になったんだっけ…



あの日に
私は催眠をかけられて…

何度も
麻緒とセツ●スをしていた…



麻緒が私達が倒した魔王の
生まれ変わりって言われて…



目の前で誠二が
私を助けようとしてくれるのに…っ

苦しんでいるのに…っ







あああ
—
♡



やめてくれええ!!

イクっ
イクっ

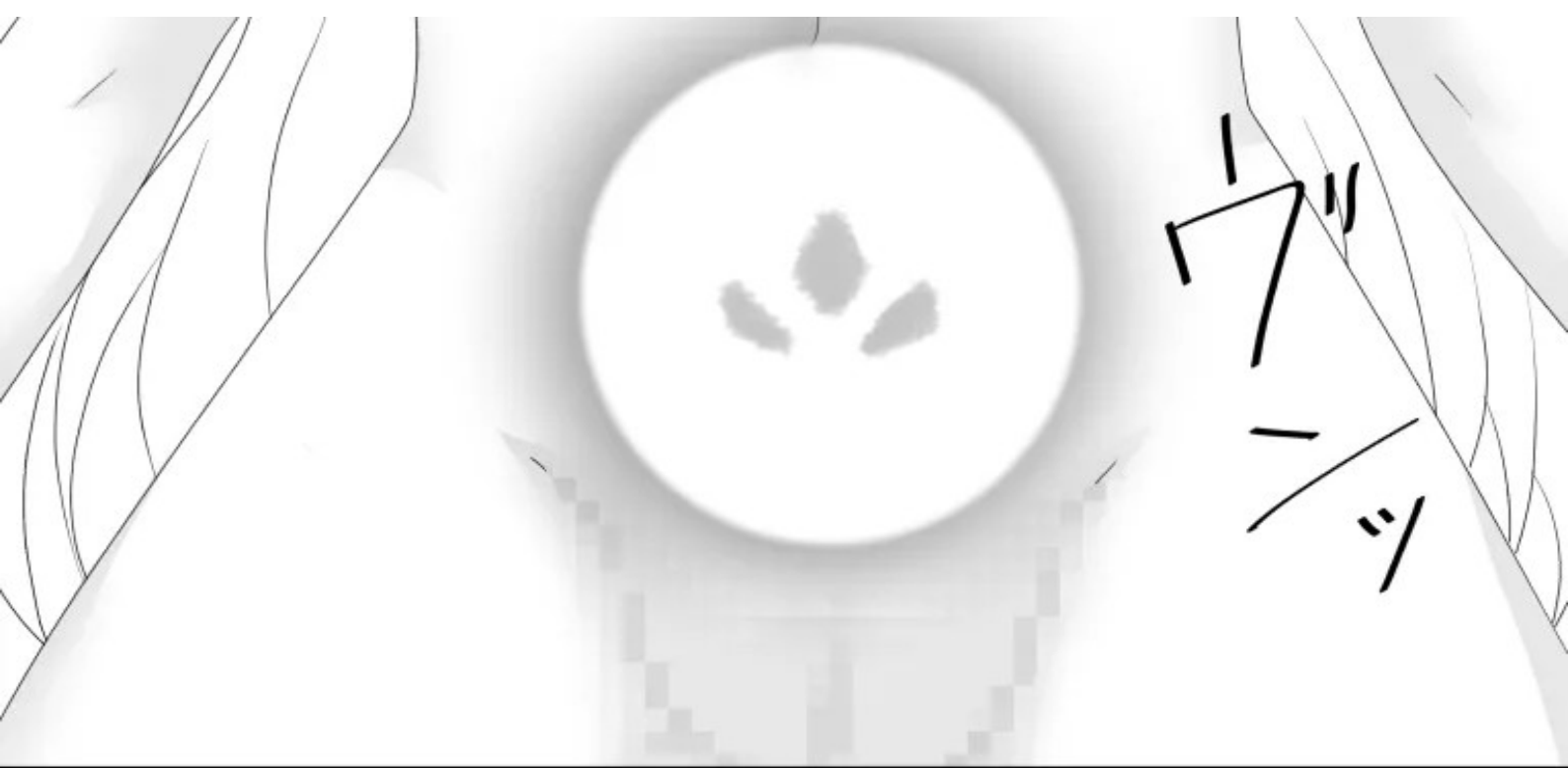
あっ
あっ

ぬ
ぬ

や
や
や

ぬ
ぬ





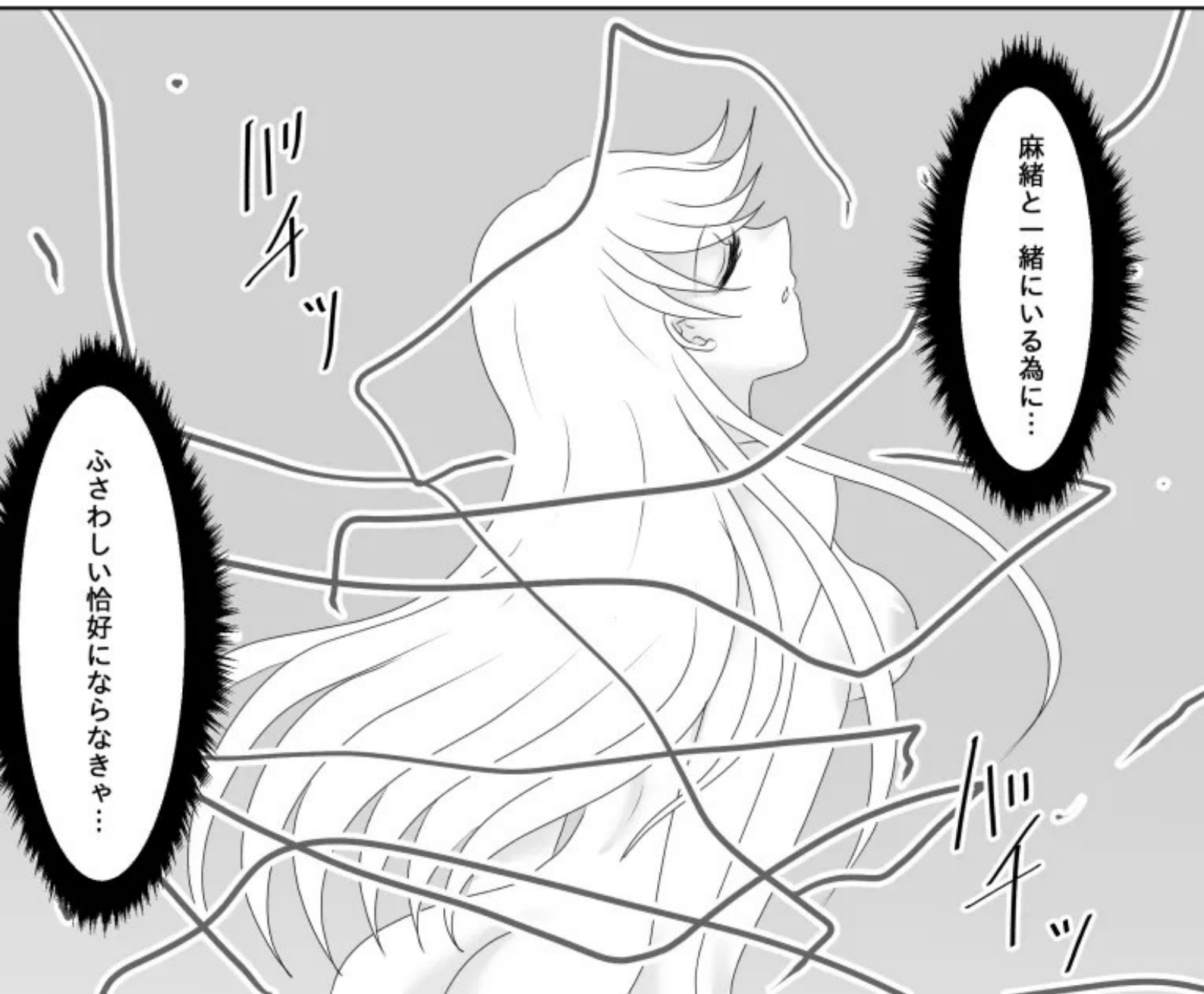


ゆづりゆづり!!

麻緒とずっと
一緒にいる…

ズツ

ハチツ



麻緒と一緒にいる為に…

ふさわしい恰好にならなきゃ…

ハチツ

ハチツ



麻緒…!!

悠理v
その恰好
よく似合ってるv



それじゃあ
私も悠理にふさわしい
恰好にならないとね…



ほんと？

麻緒にそう言っ
てもらえて嬉しいな…v







目をさます…？

私は麻緒と一緒にいる事を
自分で選んだんだよ？

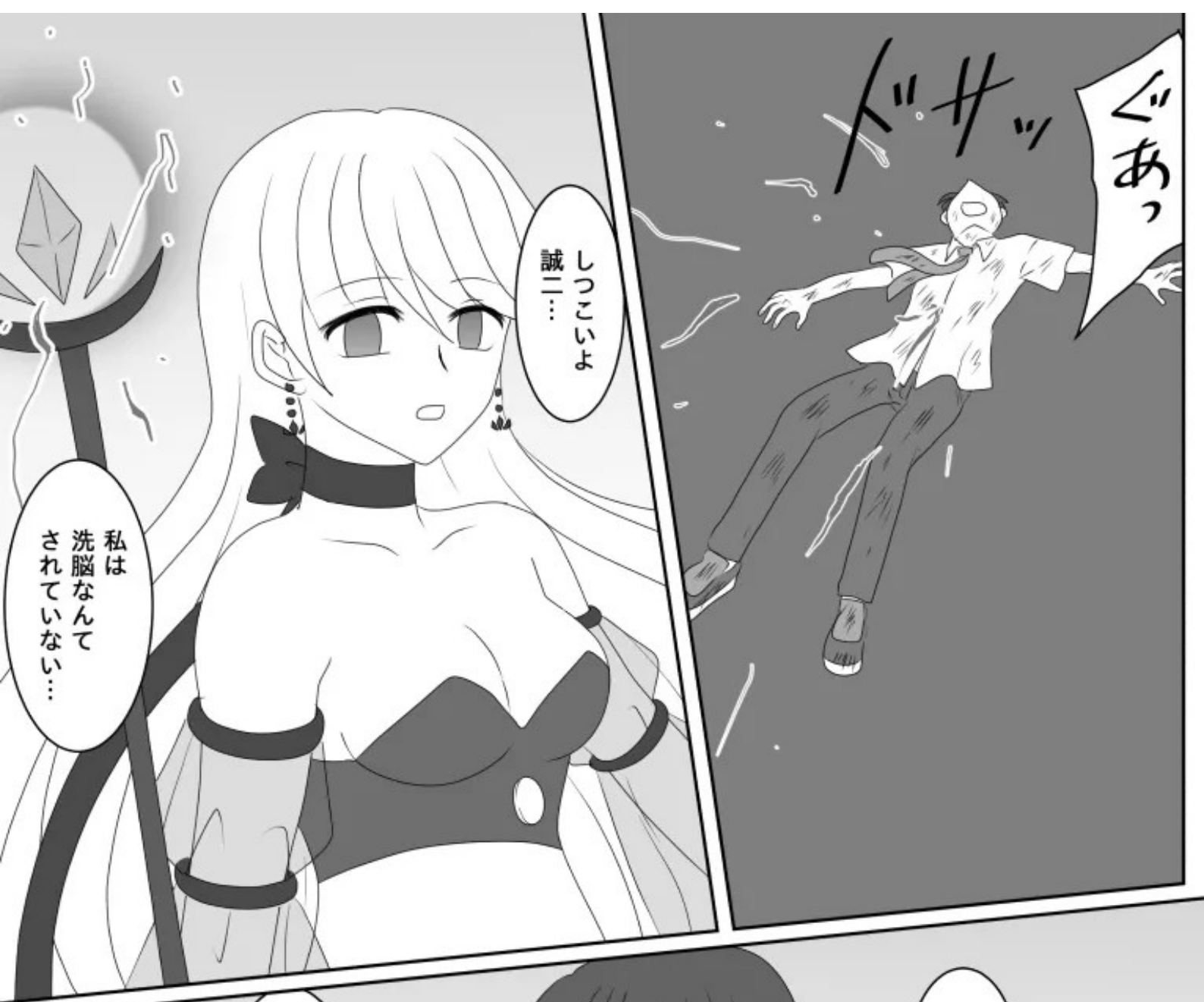
そうよ

悠理は自ら
魔のエネルギーを受け入れたの

違う!!

お前がさっきセツ●スをして
悠理を洗脳したんだろ!!





しんじゆめ
誠二…

私は
洗脳なんて
されてない…

ドサッ
ぐあッ

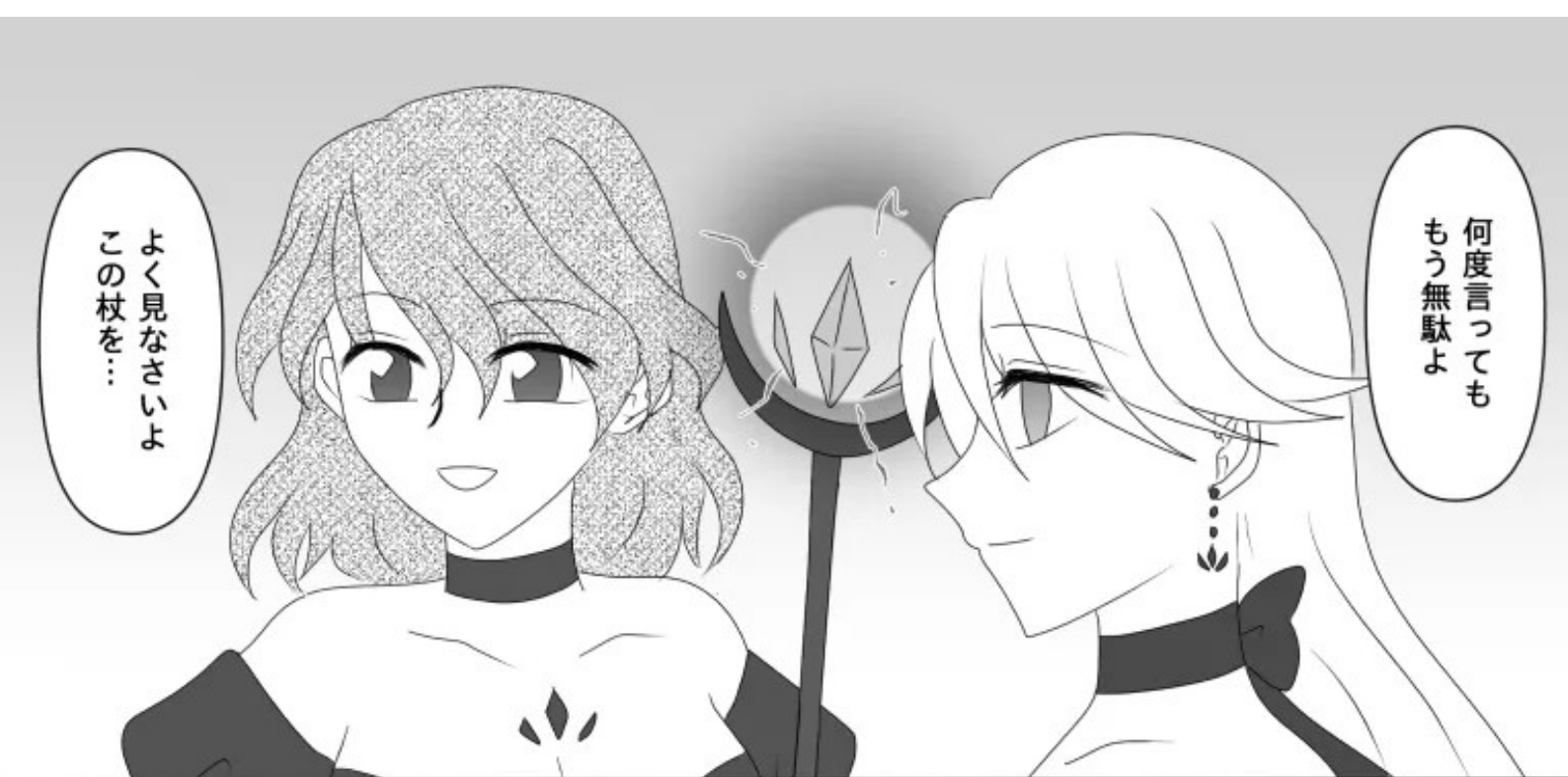


違う…

お前はこんな事するやつじゃ
なかっただろ…

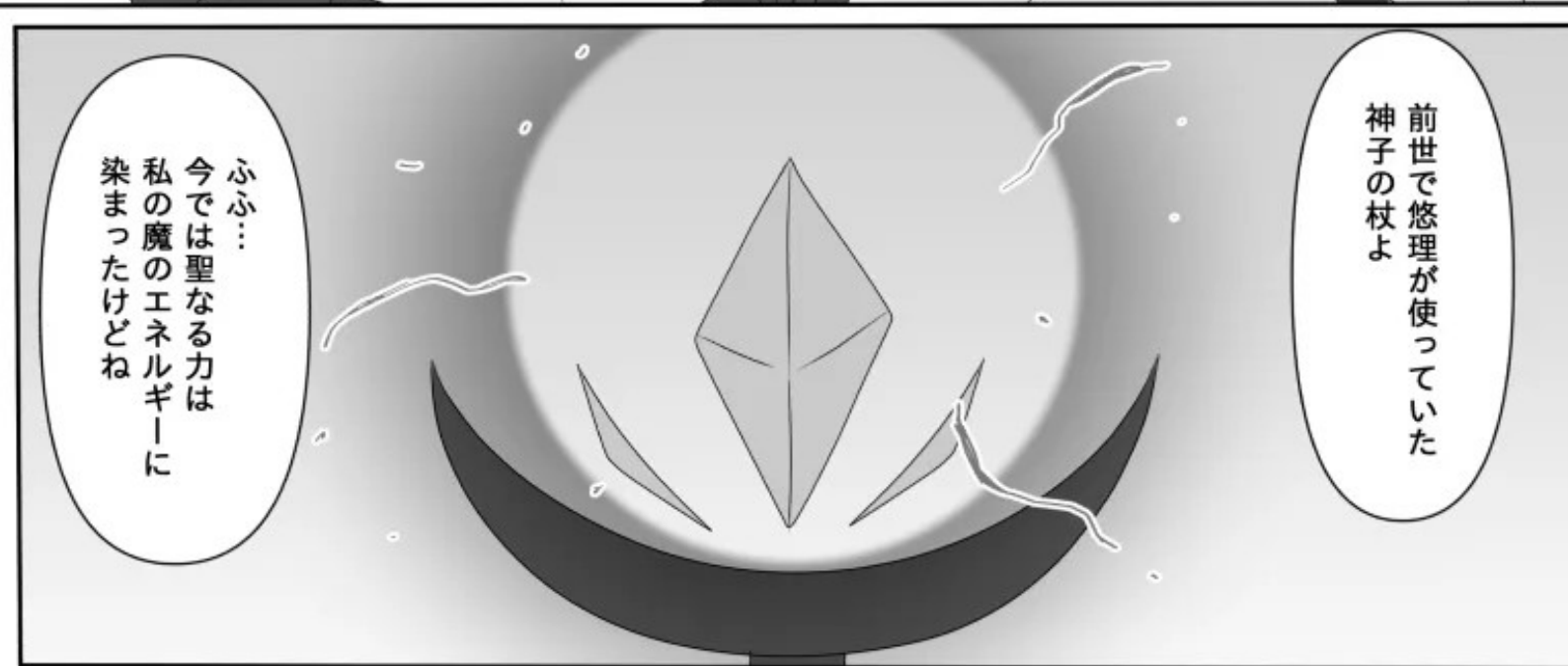
目をさましてくれ…

ムフッ




何度言っても
もう無駄よ

よく見なさいよ
この杖を…



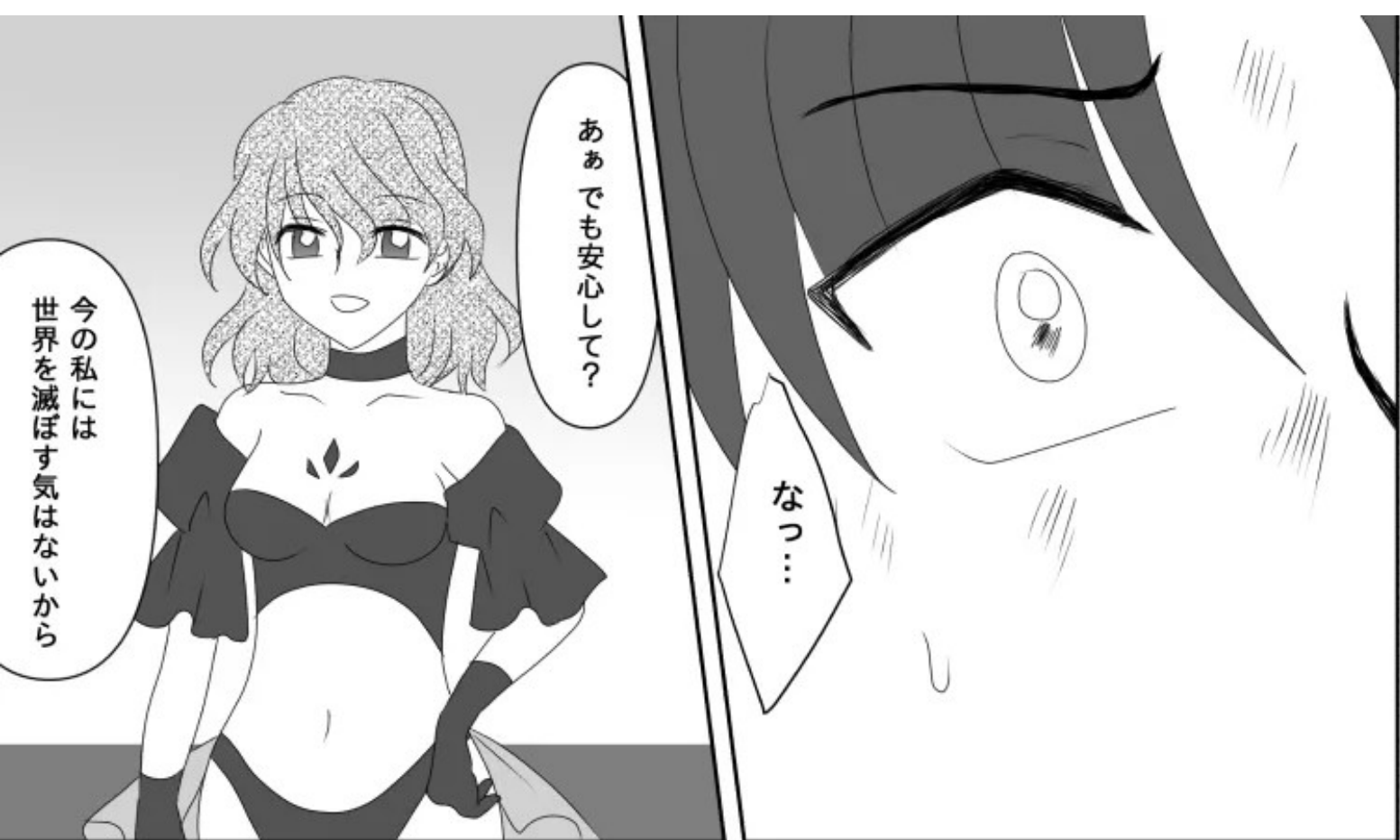
前世で悠理が使っていた
神子の杖よ

心ふ…
今では聖なる力は
私の魔のエネルギーに
染まったけどね



もう悠理に
聖なる力はない…

もう
あんたの所に戻る事もないわ





待て!!

何を...っ!?



バイバイ

誠...



え?

俺何で
屋上にいるんだ？

早く部活に行かないと…!!

あれ？

どうした？

いやあ

誰にニヤインを送ろうとしたか
ド忘れしちゃってさあ

えーw
大丈夫？

ダメかもw

無事に記憶の改竄
成功したね

ええ

でも
彼の怪我まで治す必要
なかったのに

麻緒

何言ってるの
私達の事
少しでも思い出す要素は
残しておくべきじゃないよ

もしそれで誠二に
勇者の力が覚醒したら
厄介でしょう？

私は麻緒と一緒にいる事を
選んだんだもの
邪魔されたくない…

悠理…

そうね
悠理の言う通りだわ

でしょう？

私もやっと悠理と一緒に
なれたのに
邪魔をされたくない…

麻緒…

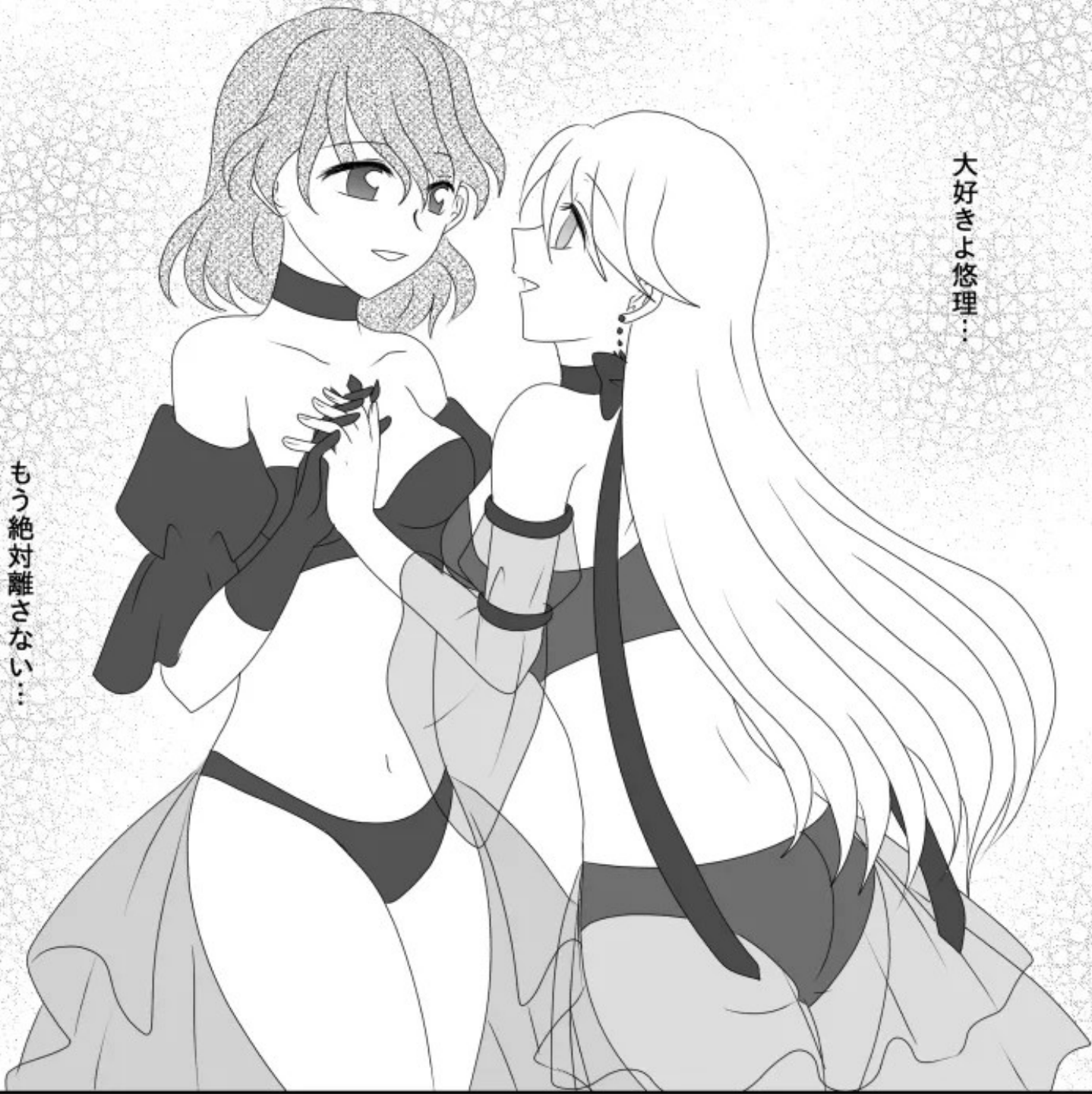
ああ…悠理
やっと私は実感しているわ

やっと
あなたを堕とせた…
手に入れる事ができた…

悠理…

大好きよ悠理…

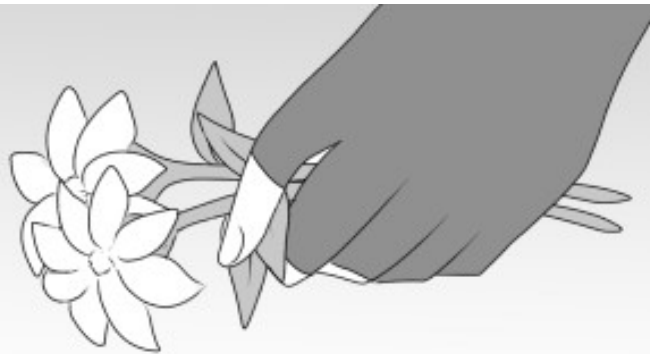
もう絶対離さない…



もう誰にも渡さない…

END

ユーリ

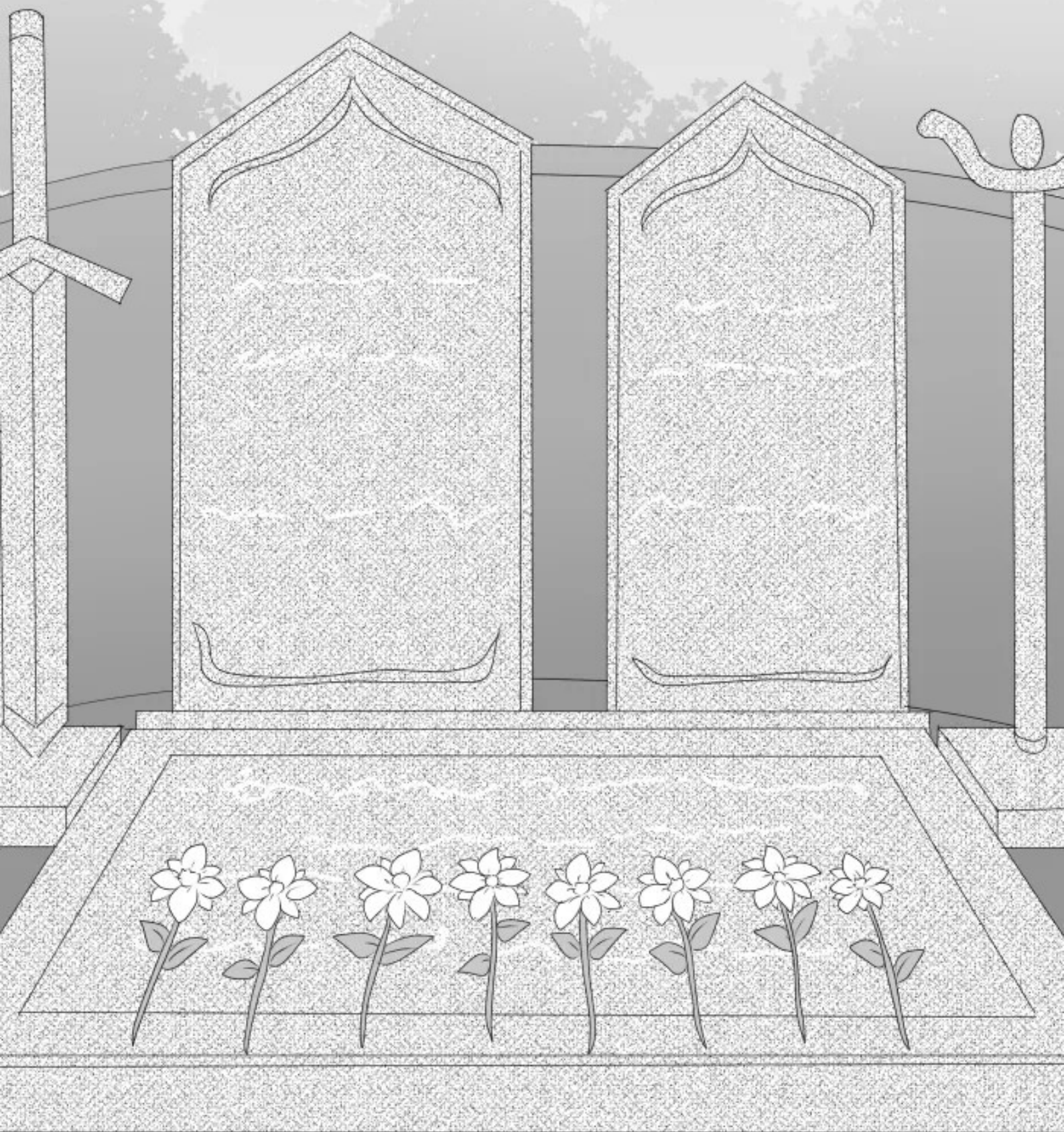


セイジ

今年も
墓参りに来たぞ



エピソード
『魔王を倒した数年後』





だが!!



今も世界はずっと
平和が続いているよ

人間もエルフも
お前達への
感謝を忘れていない



今年も言わせてもらおうぞ!!
私はずっと怒ってる!!

また
言うのか…

言うぞ!!



ユーリ!!
何で2人で死ぬ事
を選んだんだ!!

全員で
生きて帰るって
約束しただろ…!!



走ってすぐに
2人の所に行けば
全員で脱出出来たかもしれない

怪我を負って動けず
それが出来なかった
あの時の自分が
ずっと許せないでいる…!!



仲間をこんな気持ちに
させるな馬鹿…



それは…
俺も同じだよ…



もし…
輪廻転生ってものがあるなら…

2人が生まれ変わって
幸せになってほしい



だからさ…
もし…



え？



そうだな…

もし輪廻転生ってものがあるなら…



でなきや
許さないぞ!!

俺も
2人が結ばれて
幸せになれる事を願うよ

END